

2020 年度 高校 1 年生

共通科目

国語総合 A	2
国語総合 B	6
世界史 B	8
現代社会	11
数学 I (スタンダード 付属生)	15
(ハイベル 付属生)	20
(スタンダード 高入生)	25
(ハイベル 高入生)	32
数学 A (スタンダード 付属生)	39
(ハイベル 付属生)	43
(スタンダード 高入生)	47
(ハイベル 高入生)	51
物理基礎	55
化学基礎	59
生物基礎	63
体 育	67
保 健	71
コミュニケーション英語 I	75
英語表現 I	79
家庭基礎	83
社会と情報	87

芸術選択

音楽 I	90
美術 I	92
書道 I	94
工芸 I	98

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	国語	科目	国語総合 A
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	テキストの読解だけでなく、背後に流れる現代の思想を理解し、主体的にものを考えて解決していく姿勢を養う。				
教材	『精選国語総合 改訂版』(三省堂)				
副教材等	漢字テキスト 小論文トレーニング(第一学習社)				

1. 学習内容

国語は勉強しても仕方がないと思っているかもしれませんが、それは大きなまちがいです。正しい方法で学習すれば、国語はどんどん成績が上がります。

評論文・随筆・小説というそれぞれの文章形態には、筆者からのメッセージが込められています。授業を通して、そのメッセージを正確につかむための方法を学んで下さい。

また、相手の意見を聞き、自分の考えを正しく伝える力も養わなければなりません。授業では様々な文章を書いてもらったり、討論をしてもらったりします。

書いた文章を推敲していくことで、表現力は格段に向上しますので、毎回の課題はきちんと提出して下さい。

2. アドバイス

- ・予習を指示された教材は、時間を計って予め問題を解きましょう。
- ・自分で工夫して復習しやすいノートを作りましょう。
- ・授業時は色分けしながら解説するので何色かのカラーペンがあるとよいでしょう。
- ・要約は自分の納得いく答案がかけるまで何度でもチャレンジしましょう。
- ・一つひとつの言葉にこだわるようになると、国語力は飛躍的にアップします。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・小テスト ・朝テスト ・課題(レポート、小論文) ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢 ・読書ノート
- ・その他(小論文提出は必須。文学史は定期テストに出題。朝テスト、読書ノートも成績に換算)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	評論入門	17	評論	「待つということ」 鷺田清一	・レトリックに基づいた読解ができる。 ・抽象と具体の区別ができる。 ・文章の全体的な構成がつかめる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		51	評論	「言語は色眼鏡である」 野元菊雄	・指示語の内容を正確に指摘できる。 ・本文が要約できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			問題演習	スタディーサポート	・正しい読解の方法を理解できる。 ・選択肢の選び方を身につけられる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			文学史 読書記録	明治の文学史	・時代・作者・作品名・主義がわかる。	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	正義と悪・エゴイズム	22	小説	「羅生門」 芥川龍之介	・感情描写を読み取る。 ・情景描写を読み取る。 ・書き手の視点を意識する。 ・時間経過を意識する。 ・場面設定を把握する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			問題演習	進研模試	・正しい読解の方法を理解できる。 ・選択肢の選び方を身につけられる。 ・記述の答え方のポイントがわかる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			文学史 小論文	明治・大正の文学史① (鷗外と漱石) 「小論文トレーニング」	・時代・作者・作品名・主義がわかる。 ・構成を考えることができる。 ・正しい表記をすることができる。 ・論拠に基づく意見が述べられる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			読書記録			<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	小説の読解・詩	89	小説	「青が消える」 村上春樹	<ul style="list-style-type: none"> ・村上春樹についての知識を深める。 ・感情描写を読み取る。 ・情景描写を読み取る。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		70	詩	「サーカス」中原中也	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで調べ学習を行い発表する。 	<input type="checkbox"/>
			問題演習	スタディーサポート 進研模試	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい読解の方法を理解できる。 ・選択肢の選び方を身につけられる。 ・記述の書き方を身につけられる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			文学史	韻文の文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・時代・作者・作品名・主義がわかる。 	<input type="checkbox"/>
			読書記録			
2学期期末考査	労働の本質・生命とは	166	評論	「なぜ私たちは労働するのか」内田樹	<ul style="list-style-type: none"> ・レトリックに基づいた読解ができる。 ・抽象と具体の区別ができる。 ・文章の全体的な構成がつかめる。 ・本文が要約できる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		172	評論	「命は誰のものなのか」 柳澤桂子	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の全体的な構成がつかめる。 ・筆者の意見から自分の意見を展開し、それをもとにディベートを行う。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			問題演習	進研模試	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい読解の方法を理解できる。 ・選択肢の選び方を身につけられる。 ・記述の書き方を身につけられる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			文学史	明治・大正の文学史②	<ul style="list-style-type: none"> ・時代・作者・作品名・主義がわかる。 	<input type="checkbox"/>
			読書記録			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	羞恥心と自尊心		小説	「山月記」中島敦 (高2の教科書より)	<ul style="list-style-type: none"> ・感情描写を読み取る。 ・情景描写を読み取る。 ・書き手の視点を意識する。 ・時間経過を意識する。 ・場面設定を把握する。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			問題演習	進研模試	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい読解の方法を理解できる。 ・選択肢の選び方を身につけられる。 ・記述の書き方を身につけられる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			文学史	昭和の文学史	時代・作者・作品名・主義がわかる。	<input type="checkbox"/>
			小論文	小論文トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を考えることができる。 ・正しい表記をすることができる。 ・論拠に基づく意見が述べられる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			読書記録			

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	国語	科目	国語総合B
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	古典作品を読解するための基礎基本を身につける。				
教材	『精選 国語総合 改訂版』(三省堂)				
副教材等	【必携】 『古語辞典(デジタル版)』(三省堂) 『必修古典文法』、『古典文法ベーシックノート』(文英堂)、 『漢文必携』、『漢文必携チェックノート 基本編』(桐原書店)				

1. 学習内容

<ul style="list-style-type: none"> ・古典における「文法」「語彙」「常識」といった“道具”の扱いに習熟し、古典読解のための基礎力を養成する。 ・ハイレベルクラスでは模試過去問等の演習を適宜行う。
--

2. アドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・予復習は必須。字間、行間を広くとって本文を写し、可能な限りの現代語訳をして授業に臨むこと。これに自分で工夫を加え、復習しやすいノートを作成する。 ・復習時には、本文を音読する。何度も、繰り返し、暗唱するほど音読する。 ・日々の積み重ねこそが、古典読解の高みへ登るための礎となる。地道な学習を大切にし、自らの手で有意義なものとなせよ。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

<p>定期考査、平常点(課題・授業態度)</p>

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	用言・訓点		古文 入門	「宇治拾遺物語」など	歴史的仮名遣い 用言	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			漢文 入門	「訓読の基礎」「格言」など	訓読の基礎	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	助動詞・句法		古文 説話	「今昔物語」など	用言 助動詞	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			漢文 故事成語	「唐詩紀事」など	否定形 再読文字	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
夏						
2学期中間考査	助動詞・句法		古文 物語	「伊勢物語」など	助動詞 助詞	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			漢文 故事成語	「戦国策」など	再読文字 疑問形	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	助詞・句法		古文 和歌	「万葉集、古今集、新古今集」など	助動詞 助詞	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			漢文 小説	「搜神記」など	反語形	<input type="checkbox"/>
冬						
3学期学年末考査	敬語・句法		古文 日記・随筆	「土佐日記」「徒然草」など	敬語	<input type="checkbox"/>
			漢文 史話	「十八史略」など	使役形 受身形	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
春						

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	地理歴史	科目	世界史 B
				単位数	2
「学び」の目的とねらい	個々の表層的な歴史的事実のみではなく、その奥にある歴史の潮流(背後にあるもの)を把握・理解できるようになる。				
教材	『詳説世界史B』 山川出版社				
副教材等	【必携】『最新世界史図説タペストリー(十七訂版)』帝国書院 『詳説世界史B10 分間テスト』山川出版社 【あると便利なもの】 『世界史B用語集』 山川出版社 ※ プリント授業ですので、プリントを保管するファイルを用意しておきましょう。				

1. 学習内容

猿人の登場から現代に至るまでの世界の歴史を3カ年かけて学習します。1年次の世界史Bではヨーロッパ中世封建社会中期(1200年代)まで、2年次の世界史Bではそれ以降の地中海・欧米史を学習します。産業革命(1700年代後半)以降の近現代地中海・欧米史、そして東洋史・アフリカ史については、3年次の世界史演習(文系クラスの選択科目)において扱います。

プリント授業です。教科書レベルを超える内容で、授業にしっかりと取り組み復習もすれば、難関国公立大学の論説問題を除く入試問題には十分に対応できます。スタンダードクラスとハイレベルクラスとで進む速さ自体は変わりません。

授業時には毎回「5問テスト」という小テストを行い、知識の整頓を行います。小テストの成績が基準に達しない場合には寺子屋を実施します。

定期考査はスタンダードクラスとハイレベルクラスとで、共通問題と別問題を設けます。特にハイレベルクラスにおいては、その時期に学習した内容のみではなく、過去に学習した部分も含めて全範囲から出題します。全範囲問題も割合は徐々に高めていきます。

2. アドバイス

定期考査の2週間前になって対策学習を始める人がいますが、日々の予習・復習こそが最大の定期考査対策です。特に復習は、時間で区切るのではなく、その回の授業内容を他の人に説明できるようになるまで(つまり授業内容を「理解」できるまで)やってください。

- ①プリントの空欄の穴埋めにとどまらず、周辺知識を記入しましょう。なお、周辺知識は一度頭の中で整頓した上、自分の言葉で書くようにしましょう。
- ②始業ベル前に、机の中は空にし、授業に必要なもの一式を机の上に用意しておきましょう。
- ③そもそも学習意欲に欠ける者は学校から去りましょう。義務教育ではありません。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査(『詳説世界史B10 分間テスト』の指定した範囲からも出題します。)
 平常点(授業態度・小テスト)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査		10-13	人類の出現	1・人類の進化 2・文明以前の現生人類	各人類の特色 中石器・新石器・青銅器時代の特徴	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		16-27	古代オリエント	3・エジプトとメソポタミア 4・古代オリエント概要 5・古代前半オリエント史 6・メソポタミア周辺とシリア	エジプトとメソポタミアとの差異 民族・国家名および大まかな順序 エジプト史・メソポタミア史の流れ フェニキア・アラム・ヘブライ史	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	先史・古代地中海世界史			7・古代オリエントの統一	アッシリア→4 王国分立→ペルシアの流れ	<input type="checkbox"/>
		27-29	古代エーゲ文明	8・古代エーゲ文明	クレタ文明・トロイア文明・ミケーネ文明	<input type="checkbox"/>
		29-35	ポリス文明	9・ポリスの成立と発展 10・スパルタ・アテネとペルシア戦争	ポリスの構造と生活 スパルタの特色 アテネの民主政の発展 ペルシア戦争の流れ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		35・36	ヘレニズム	11・ポリスの衰退とヘレニズム世界	ポリスの衰退とマケドニアの台頭 大王の東方遠征の歴史的意義	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期中間考査		36-40	ギリシア文化	12・ギリシア哲学 13・ギリシア文化	自然哲学→三大哲学者→ヘレニズム哲学の流れ ギリシア文学・歴史・建築	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		40-47	古代ローマ史	14・共和政ローマ 15・ローマの海外遠征と内乱 16・三頭政治とローマ帝国 17・古代ローマの終焉	ローマ史の6区分の把握 都市国家～イタリアの統一 貴族と平民の政治的平等の実現 領土の拡大と統治のしくみ 内乱の1世紀 第1回・第2回三頭政治 元首政の開始～五賢帝時代 軍人皇帝→ディオクレティアヌス→コンスタンティヌス→テオドシウスの流れ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
2学期期末考査	古代地中海世界史／古代・中世西アジア史	47-48	キリスト教の成立	18・キリスト教の成立と発展	イエスの思想と使徒の活動 ローマ帝国の対応の変化 キリスト教の分派	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		49-51	ローマ文化	19・ローマ文化	実用文化と主な文化人	<input type="checkbox"/>
		25-27	パルティアとササン朝	20・古代イラン文明	パルティアとササン朝	<input type="checkbox"/>
		100-111	イスラーム世界の成立と発展	21・イスラーム教のはじまり 22・イスラーム帝国の成立 23・イスラーム国家の興亡	イスラーム教の基礎知識 イスラーム教の成立と拡大 正統カリフ→ウマイヤ朝→アッバース朝の流れ 時代・地域・民族ごとのイスラーム国家の変遷とその特色	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3学期学年末考査	イスラーム文化／中世ヨーロッパ史(前期)	115-119	イスラーム文化史	24・イスラーム文化	固有の学問と外来の学問 それぞれの人物の業績と地域	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		120-132	中世ヨーロッパ史(前期)	25・ゲルマン人の大移動	ゲルマン民族の大移動の要因 部族ごとの建国地	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				26・フランク王国の盛衰と中世諸国家の成立	カール大帝の業績 フランク王国分裂により成立した諸国家	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				27・イギリスの形成と封建社会	ヴァイキングの移動により成立した諸国家 イギリスの形成 封建制度と荘園制度の特徴	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
28・ローマカトリック教会の発展	基本的なキリスト教用語 東西教会の分裂 修道院による教会改革 教皇権が確立する過程	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	公民	科目	現代社会
				単位数	2
「学び」の目的とねらい	多くの知識を吸収し、現代社会の様々な諸問題に関心を持ち、自ら考えて、判断を下し、行動できる。				
教材	『高等学校 改訂版 現代社会』 第一学習社				
副教材等					

1. 学習内容

現代社会の学習領域には主に、政治分野、経済分野があります。前半が政治分野、後半が経済分野となります。3学期には青年期と思想史の学習をおこないます。週2単位(時間)ですが、配布教材を利用して、その週に学習した範囲を見直すことによって、定着を図ります。中学で学習した内容をさらに深く、幅広く学習いたします。日頃からニュースなどをみて興味・関心を持つよう心がけてください。

2. アドバイス

【予習】特に必要ありませんが、前回の授業のノートやプリントを見直してください。

【復習】授業内配布の問題を、次の授業までにやりましょう。授業中に答え合わせは行いません。わからなかった箇所は質問して各自で勉強するよう心がけてください。

【その他】①ノートをとることも大事ですが、授業の内容を理解することはもっと大切です。ノートをとることはあくまでも記憶の補助です。②始業ベル前に授業に必要なもの一式を机の上に用意しておきましょう。③授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに解決しましょう。④プリントが多く配布されます。バインダーなどを利用して整理しておきましょう。⑤準拠プリントをチェックシートで提出状況を確認し、平常点として評価します。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

教科書準拠プリント、授業内小テスト、宿題・課題

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
1 学期中間考査	第2章 個人の尊重と法の支配 ／ 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	52-55	1 民主政治における個人と国家	私たちと政治、政治と国家、近代国家の思想	ホッブス、ロック、ルソー、モンテスキュー	<input type="checkbox"/>	
		56-63	2 基本的人権と法の支配	法の支配 国民主権と権力分立 基本的人権の考え方	国家からの自由、国家による自由 国際連合憲章、	<input type="checkbox"/>	
		64-67	世界のおもな政治体制	人権の国際化	世界人権宣言、国際人権規約	<input type="checkbox"/>	
		68-71	1 日本国憲法の基本原理	明治憲法下の政治 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理	ポツダム宣言、GHQ、マッカーサー草案、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義	<input type="checkbox"/>	
		72-81	2 平和主義と安全保障	平和主義の理念 戦争の放棄 自衛隊の創設、自衛隊と憲法第9条 日米安全保障条約 日本の防衛政策	平和的生存権、戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認	<input type="checkbox"/>	
					朝鮮戦争、警察予備隊、保安隊、自衛隊、サンフランシスコ	<input type="checkbox"/>	
					平和条約、日米安全保障条約	<input type="checkbox"/>	
					統治行為論、非核三原則	<input type="checkbox"/>	
					自由権、社会権、参政権、請求権、プログラム規定説	<input type="checkbox"/>	
					国民審査、法の下の平等	<input type="checkbox"/>	
1 学期期末考査	現代の民主政治と政治参加の意義	82-96	3 基本的人権の保障と新しい人権	人権保障、自由権、社会権、参政権、法の下での平等 新しい人権 公共の福祉	幸福追求権、環境権、知る権利、アクセス権、プライバシーの権利公共の福祉	<input type="checkbox"/>	
		97-125	4 国民主権と議会制民主主義	国民主権と議会制民主主義	国民主権、議会制民主主義	国民主権、議会制民主主義	<input type="checkbox"/>
				国会の地位と運営と権限、衆議院の優越	国会の最高機関、二院制、内閣不信任決議権、衆議院の優越、衆議院の解散、総辞職	<input type="checkbox"/>	
				5 内閣と行政の民主化	内閣と議院内閣制、内閣の権限	行政委員会、行政改革	<input type="checkbox"/>
				6 裁判所と人権保障	司法権の独立 国民の権利と裁判 憲法の番人 司法制度改革	司法権の独立、国民審査、三審制、違憲法令審査権、統治行為論、裁判員制度	<input type="checkbox"/>
		7 地方自治と住民の福祉	地方自治の組織と運営、地方自治の課題	地方自治の本旨、団体自治、住民自治	<input type="checkbox"/>		
				選挙の4大原則、小選挙区制、比例代表制	<input type="checkbox"/>		
		8 世論形成と政治参加	さまざまな選挙制度				

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
2学期中間考査	第4章 国際政治の動向と日本の役割 ／ 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	126-155	1 国家主権と国際法	勢力均衡と集団安全保障	主権国家、グロティウス、勢力均衡、集団安全保障	<input type="checkbox"/>	
			2 国際連合の役割	国際連合の成立と目的、国際連合の役割	国際連合の成立 総会、安全保障理事会、常任理事国、拒否権、ヤルタ会談、トルーマンドクトリン、NATO、	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			3 今日の国際社会	第二次世界大戦後の国際社会、	WTO、第三世界	<input type="checkbox"/>	
			4 核兵器の廃絶と国際平和	冷戦終結後の国際社会 軍縮と核兵器廃絶への道、	PTBT、NPT、SALT、START、SDI、MD 構想、INF 全廃条約、CTBT、戦略核兵器削減条約	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			5. 地域紛争と人種・民族問題	冷戦終結後の核開発		<input type="checkbox"/>	
			6. 国境と領土問題				
			7. 外交政策と日本役割				
		156-170	1. 経済社会と経済体制	資本主義経済の特質と変容、社会主義経済体制の特質と変容	アダム・スミス、自由放任主義、ケインズ、修正資本主義 マルクス、ペレストロイカ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			2. 現代の企業	企業の役割と社会的責任、 株式会社のしくみと活動	企業、家計、政府 株式会社、有限責任、所得と経営の分離	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			3. 市場経済のしくみ	多国籍企業の活動 市場のしくみ、競争と独占・寡占、市場の失敗	多国籍企業、コングロマリット 需要、供給、価格の自動調整作用、市場の失敗	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			170-194	4. 経済成長と景気変動	フローとストック、 景気変動経済成長と国民の福祉	GDP、景気循環、ポリシーミック ス、経済成長率	<input type="checkbox"/>
				5. 政府の経済的役割と租税の意義	財政のしくみ、財政政策 租税の意義と課題	資源配分の機能、所得再分配の機能、景気調整の機能 自動安定化装置、財政政策	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				6. 金融機関のはたらき	金融市場のしくみと金融機関のはたらき 日本銀行の役割と金融政策	発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行、管理通貨制度 公開市場操作、預金準備率操作	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				7. 戦後の日本経済	戦後の復興 高度経済成長 経済のバブル化と崩壊後の不況	農地改革、財閥解体、労働の民主化、傾斜生産方式、ドッジライン、高度経済成長、スタグフレーション、経済摩擦、円高不況、バブル経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査							

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3 学期学年末考査	第6章 国際経済の動向と日本の役割 ／ 第1章 現代に生きる青年 ／ 第7章 現代に生きる倫理	222-239 5 回	1 国際経済のしくみと貿易の拡大 2. 進む経済統合 3 国際経済の動向	国際分業と貿易 国際貿易体制の展開 国際収支の動向 国際通貨制度の変容 外国為替相場の動き IMF の新しい役割 地域的経済統合 日本の貿易 アメリカ経済の動向 中国経済の発展 発展する世界経済	国際分業、リカード、比較生産費説、リスト GATT、WTO 国際収支 IMF、IBRD、ブレトンウッズ体制、固定相場制、変動相場制 FTA、EPA EU、NAFTA、MERCOSUR 為替相場アジアの通貨危機 経済摩擦、アジア NIES サブプライムローン、世界同時不況、改革開放政策、社会主義市場経済、BRICS	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		38-51 3 回 248-245 4 回	現代に生きる青年 1. 青年期の意義と自己形成の課題 2. 現代社会における青年期の生き方 3. 伝統や文化と私たちの生活 現代に生きる倫理 1 豊かな人生を求めて 2 日本の伝統的なものの考え方 3 西洋の自然観と人間観 4. 現代に生きる人間の倫理	青年期とは、青年期補発達課題、防衛機制 職業意識 社会への参画 祭りと年中行事 異文化との共生 古代哲学史、三大宗教 古代から近代の日本思想 西洋哲学史 現代哲学	マージナルマン、アイデンティティ、心理的離乳、防衛機制 男女共同参画社会基本法 ジェンダー 通過儀礼、年中行事 恥の文化、和の精神 エスノセントリズム ソクラテス、プラトン、アリストテレス 仏教伝来、鎌倉仏教、儒学、国学 経験論、合理論、社会契約説 ドイツ観念論哲学、功利主義 実存主義、プラグマティズム 大衆社会論、生命への畏敬 ケイパビリティ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年5～7組 スタンダード	教科	数学	科目	数学Ⅰ
				単位数	4
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学Ⅰ Advanced(東京書籍)・数学Ⅱ Advanced(東京書籍)				
副教材等	HI-PRIMEⅠ+A、HI-PRIMEⅡ+B(ともに東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学Ⅰ、数学Ⅱ(ともに数研出版)				

1. 学習内容

数学Ⅰから「集合と論証」、「2次関数」、「図形と計量」、数学Ⅱから「三角関数」、「方程式・式と証明」を学びます。

「集合と論証」・・・集合の共通部分・和集合・空集合を学び、必要条件・十分条件や命題の逆・裏・対偶と背理法を扱います。

「2次関数」・・・2次関数の最大・最小、2次不等式をグラフを利用して解く方法を学んでいきます。

「図形と計量」・・・三角比・正弦定理等を学び、平面図形や空間図形の面積・体積の求め方を扱います。

「三角関数」・・・三角比より一般角を定義し発展させます。(数学Ⅱ)

「方程式・式と証明」・・・虚数解をもつ方程式や解と係数の関係等、方程式を深く学びます。(数学Ⅱ)

2. アドバイス

予習・復習をしっかりとやるのが大切です。計算が苦手な人も得意な人も、まずは授業でしっかりノートをとって復習しましょう。

すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。

苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・小テスト
- ・朝テスト
- ・宿題・課題
- ・ノート提出
- ・授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄				
1学期中間考査	2章 集合論証	50 56	1 集合	①集合 ②補集合とド・モルガンの法則	集合の表し方・部分集合 共通部分・和集合 空集合・補集合・全体集合 ・モルガンの法則	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
		57 62	2 命題と論証	①命題と条件 ②論証	命題・真偽・仮定と結論・反例 必要十分条件 命題と対偶(を利用した証明) 背理法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	3章 2次関数	1 関数とグラフ	71 76	1 関数とグラフ	①関数 ②2次関数とそのグラフ	$y = f(x)$ 、 $y = f(a)$ 、関数の値 直線 $x = k$ 、直線 $y = k$ 関数の定義域・値域、最大値・最小値 2次関数、放物線、軸、頂点 下に凸、上に凸、平方完成 2次関数の平行移動させたグラフ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
			83					③2次関数の最大・最小	2次関数の最大値・最小値 定義域が与えられたときの最大値・最小値	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			88							
		1学期期末考査	3章 2次関数	94 96	2 2次方程式・2次不等式	②2次方程式の解法 ②2次方程式の実数解の個数 ③2次関数のグラフとx軸の共有点	2次方程式の解の公式 2次方程式の x の係数が偶数の解法 実数解、重解、判別式D Dの符号と2次方程式の実数解の個数 2次関数のグラフとx軸の共有点のx座標 2次関数のグラフとx軸の位置関係 接する、接点	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
				98						

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
1 学期 期末 考査	3章 2次関数	102	2 2次方程式・ 2次不等式	④2次不等式	1次関数のグラフと1次不等式	<input type="checkbox"/>	
		109		⑤2次不等式の応用	2次関数のグラフを用いた2次不等式の解	<input type="checkbox"/>	
					解がすべての実数であるような2次不等式	<input type="checkbox"/>	
		4章 図形と計量	118	1 鋭角の三角比	①直角三角形と三角比	正接、 $\tan A$ 、仰角、俯角	<input type="checkbox"/>
	118		②正接・正弦・余弦		正弦 $\sin A$ 、余弦 $\cos A$ 、正接 $\tan A$	<input type="checkbox"/>	
	124		③三角比の相互関係		図形への応用、三角比の表	<input type="checkbox"/>	
				1つの三角比の値から他の三角比を求める	<input type="checkbox"/>		
				($90^\circ - \theta$ の三角比)	<input type="checkbox"/>		
		128	2 三角比の拡張	①三角比と座標	三角比の座標による定義、鈍角の三角比	<input type="checkbox"/>	
		134		②三角比の性質	単位円、直線の傾きと正接	<input type="checkbox"/>	
					$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のときの三角比の相互関係	<input type="checkbox"/>	
					1つの三角比の値から他の三角比を求める	<input type="checkbox"/>	
					($180^\circ - \theta$ の三角比)	<input type="checkbox"/>	
2 学期 中間 考査		138	3 三角形への応用	①正弦定理	外接円、正弦定理	<input type="checkbox"/>	
		142		②余弦定理	余弦定理	<input type="checkbox"/>	
		146		③三角形の面積	2辺と1角が与えられた場合	<input type="checkbox"/>	
				3辺が与えられた場合	<input type="checkbox"/>		
				三角形の辺と角の大きさ	<input type="checkbox"/>		
				鋭角三角形、鈍角三角形	<input type="checkbox"/>		
				最大角、三角形の決定	<input type="checkbox"/>		
				三角形の面積の公式	<input type="checkbox"/>		
				3辺の長さから面積を求める	<input type="checkbox"/>		
				円に内接する四角形の面積	<input type="checkbox"/>		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	4章図形と計量	149	4 図形の計量	④空間図形の計量	正四面体、立方体、直方体の計量 平面図形の相似・相似比・面積比 立体の相似・相似比・表面積比・体積比	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		110 113 116 120 126	1 三角関数	①一般角 ②三角関数 ③三角関数の性質 ④三角関数のグラフ ⑤三角関数の応用	弧度法 扇形の弧の長さと同面積 三角関数の定義 単位円 三角関数の相互関係 $\theta + 2n\pi$ の三角関数 $\theta + \frac{\pi}{2}$ 、 $\theta + \pi$ の三角関数 三角関数のグラフ グラフの周期性や対称性 いろいろな三角関数のグラフ 三角方程式・不等式	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	3章三角関数(数学Ⅱ)	132 137 140	2 加法定理	①加法定理 ②加法定理の応用 ③三角関数の合成	加法定理の証明 15° 75° 105° 165° の値 2倍角の公式 半角の公式 合成の方法 関数の最大・最小	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末 考査	1章 方程式・式と証明 (数学Ⅱ)	6	1 整式の乗法・ 除法と分数式	① 式の乗法と因数 分解	3次の乗法公式と因数分解	<input type="checkbox"/>
		8		②二項定理	二項定理の理解 パスカルの三角形	<input type="checkbox"/>
		12		③整式の除法	除法の演算 整式と商・余りの関係	<input type="checkbox"/>
		15		④分数式とその計算	約分・通分 加法・減法・乗法・除法	<input type="checkbox"/>
		21		2 二次方程式	①複素数と演算	複素数の加法・減法・乗法・除法
		26	②解の公式		解の公式 判別式 解と係数の関係	<input type="checkbox"/>
		30	③解と係数の関係		2次式の因数分解 与えられた2数を解とする2次方程式 2次方程式の実数解の符号	<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>

ハイレベルクラスは難度の高い問題を行う。スタンダードクラスは基本問題から応用問題まで行う

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年4組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学 I
				単位数	4
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学 I Advanced(東京書籍)・数学 II Advanced(東京書籍)				
副教材等	HI-PRIME I +A、HI-PRIME II +B(ともに東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学 I、数学 II(ともに数研出版)				

1. 学習内容

数学 I から「集合と論証」、「2次関数」、「図形と計量」、数学 II から「三角関数」、「方程式・式と証明」を学びます。

「集合と論証」・・・集合の共通部分・和集合・空集合を学び、必要条件・十分条件や命題の逆・裏・対偶と背理法を扱います。

「2次関数」・・・2次関数の最大・最小、2次不等式をグラフを利用して解く方法を学んでいきます。

「図形と計量」・・・三角比・正弦定理等を学び、平面図形や空間図形の面積・体積の求め方を扱います。

「三角関数」・・・三角比より一般角を定義し発展させます。(数学 II)

「方程式・式と証明」・・・虚数解をもつ方程式や解と係数の関係等、方程式を深く学びます。(数学 II)

2. アドバイス

予習・復習をしっかりとやるのが大切です。計算が苦手な人も得意な人も、まずは授業でしっかりノートをとって自宅で復習しましょう。

すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。

苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・小テスト
- ・朝テスト
- ・宿題・課題
- ・ノート提出
- ・授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	2章 集合論証	50	1 集合	①集合	集合の表し方・部分集合	<input type="checkbox"/>
		56		②補集合とド・モルガンの法則	共通部分・和集合 空集合・補集合・全体集合 ・モルガンの法則	<input type="checkbox"/>
		57	2 命題と論証	①命題と条件	命題・真偽・仮定と結論・反例必要十分条件	<input type="checkbox"/>
		62		②論証	命題と対偶(を利用した証明)背理法	<input type="checkbox"/>
	3章 2次関数	1 関数とグラフ	71	①関数	$y = f(x)$ 、 $y = f(a)$ 、関数の値 直線 $x = k$ 、直線 $y = k$ 関数の定義域・値域、最大値・最小値 2次関数、放物線、軸、頂点	<input type="checkbox"/>
			76	②2次関数とそのグラフ	下に凸、上に凸、平方完成 2次関数の平行移動させたグラフ 2次関数の最大値・最小値 定義域が与えられたときの最大値・最小値	<input type="checkbox"/>
		83	③2次関数の最大・最小	最大・最小の応用	<input type="checkbox"/>	
		88		条件から2次関数を決定する 連立3元1次方程式	<input type="checkbox"/>	
					この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>
					この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>
			この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>		
1学期期末考査	3章 2次関数	94	2 2次方程式・2次不等式	①2次方程式の解法	2次方程式の解の公式 2次方程式の x の係数が偶数の解法 実数解、重解、判別式D	<input type="checkbox"/>
		96		②2次方程式の実数解の個数	Dの符号と2次方程式の実数解の個数 2次関数のグラフとx軸の共有点の x 座標 2次関数のグラフと x 軸の位置関係	<input type="checkbox"/>
		98		③2次関数のグラフとx軸の共有点	接する、接点	<input type="checkbox"/>
			この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
1 学期期末考査	3 章 2 次関数	102	2 2 次方程式・ 2 次不等式	④2次不等式	1次関数のグラフと1次不等式 2次関数のグラフを用いた2次不等式の解 解がすべての実数であるような2次不等式 2次不等式のまとめ 連立不等式 2次不等式の応用 2次不等式の解の符号 この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>	
		109				⑤2次不等式の応用	<input type="checkbox"/>
			ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ		<input type="checkbox"/>	
		118	1 鋭角の三角比	①直角三角形と三角比 ②正接・正弦・余弦 ③三角比の相互関係	正接、 $\tan A$ 、仰角、俯角 正弦 $\sin A$ 、余弦 $\cos A$ 、正接 $\tan A$ 図形への応用、三角比の表 1つの三角比の値から他の三角比を求める ($90^\circ - \theta$ の三角比	<input type="checkbox"/>	
	118					<input type="checkbox"/>	
	124					<input type="checkbox"/>	
		128	2 三角比の拡張	①三角比と座標 ②三角比の性質	三角比の座標による定義、鈍角の三角比 単位円、直線の傾きと正接 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のときの三角比の相互関係 1つの三角比の値から他の三角比を求める ($180^\circ - \theta$ の三角比 この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>	
	134					<input type="checkbox"/>	
		ハイレベル演習				大学入試問題にチャレンジ	<input type="checkbox"/>
	2 学期中間考査		138	3 三角形への応用	①正弦定理 ②余弦定理 ③三角形の面積	外接円、正弦定理 余弦定理 2辺と1角が与えられた場合 3辺が与えられた場合 三角形の辺と角の大きさ 鋭角三角形、鈍角三角形 最大角、三角形の決定 三角形の面積の公式 3辺の長さから面積を求める 円に内接する四角形の面積 この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>
142							<input type="checkbox"/>
146							<input type="checkbox"/>
		ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ		<input type="checkbox"/>		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	4章 図形と計量	149	4 図形の計量	④空間図形の計量	正四面体、立方体、直方体の計量 平面図形の相似・相似比・面積比 立体の相似・相似比・表面積比・体積比	<input type="checkbox"/>
			ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>
2学期期末考査	3章 三角関数(数学Ⅱ)	110	1 三角関数	①一般角	弧度法 扇形の弧の長さとの面積	<input type="checkbox"/>
		113		②三角関数	三角関数の定義 単位円	<input type="checkbox"/>
		116		③三角関数の性質	三角関数の相互関係 $\theta + 2n\pi$ の三角関数 $\theta + \frac{\pi}{2}$ 、 $\theta + \pi$ の三角関数	<input type="checkbox"/>
		120		④三角関数のグラフ	三角関数のグラフ グラフの周期性や対称性 いろいろな三角関数のグラフ	<input type="checkbox"/>
		126	⑤三角関数の応用	三角方程式・不等式 この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>	
			ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ		
		132	2 加法定理	①加法定理	加法定理の証明 15° 75° 105° 165° の値	<input type="checkbox"/>
		137		②加法定理の応用	2倍角の公式 半角の公式	<input type="checkbox"/>
		140		③三角関数の合成	合成の方法 関数の最大・最小	<input type="checkbox"/>
		144		(発展)和と積の変換公式	公式の総合利用	<input type="checkbox"/>
	ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	この単元の応用力を養う			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	1章方程式・式と証明(数学ロ)	6	1 整式の乗法・ 除法と分数式 ハイレベル演習	①整式の乗法と因数分解 ②二項定理 ③整式の除法 ④分数式とその計算 大学入試問題にチャレンジ	3次の乗法公式と因数分解	<input type="checkbox"/>
		8			二項定理の理解	<input type="checkbox"/>
12	パスカルの三角形	<input type="checkbox"/>				
15	除法の演算 整式と商・余りの関係 約分・通分 加法・減法・乗法・除法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
		21	2 二次方程式 ハイレベル演習	①複素数と演算 ②解の公式 ③解と係数の関係 大学入試問題にチャレンジ	複素数の加法・減法・乗法・除法 解の公式	<input type="checkbox"/>
	26	判別式 解と係数の関係			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	30	2次式の因数分解 与えられた2数を解とする2次方程式 2次方程式の実数解の符号			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
					この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>

ハイレベルクラスは難度の高い問題を行う。スタンダードクラスは基本問題から応用問題まで行う

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年2・3組 スタンダード	教科	数学	科目	数学 I
				単位数	4
『学び』の 目標と	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学 I Advanced(東京書籍)・数学 II Advanced(東京書籍)				
副教材等	HI-PRIME I +A、HI-PRIME II +B(ともに東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学 I、数学 II(ともに数研出版)				

1. 学習内容

<p>「数と式」、「集合と論証」、「2次関数」、「図形と計量」、「データの分析」の5単元を学びます。</p> <p>「数と式」……整式の計算や因数分解、実数や平方根や絶対値の性質等を扱います。</p> <p>「集合と論証」…集合の共通部分・和集合・空集合を学び、必要条件・十分条件や命題の逆・裏・対偶と背理法を扱います。</p> <p>「2次関数」……2次関数の最大・最小、2次不等式をグラフを利用して解く方法を学んでいきます。</p> <p>「図形と計量」…三角比・正弦定理等を学び、平面図形や空間図形の面積・体積の求め方を扱います。</p> <p>「データの分析」…データの整理・分析を行い、活用できるようにします。</p> <p>「三角関数」…三角比より一般角を定義し発展させます。(数学 II)</p> <p>「方程式・式と証明」…虚数解をもつ方程式や解と係数の関係等、方程式を深く学びます。(数学 II)</p>

2. アドバイス

<p>予習・復習をしっかりとやるのが大切です。計算が苦手な人も得意な人も、まずは授業でしっかりノートをとって復習しましょう。</p> <p>すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。</p> <p>苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。</p>
--

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・朝テスト ・宿題・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
1学期中間考査	1章 数と式	6	1 式の計算	①整式	単項式、次数、係数	<input type="checkbox"/>	
					多項式、項、整式、同類項	<input type="checkbox"/>	
					n 次式、定数項	<input type="checkbox"/>	
						降べきの順、昇べきの順	<input type="checkbox"/>
		8	2 実数	②整式の加法・減法・乗法	整式の和・差、 a の累乗	<input type="checkbox"/>	
					指数、指数法則	<input type="checkbox"/>	
					単項式の積、分配法則	<input type="checkbox"/>	
					乗法公式(2次・3次の式の展開)	<input type="checkbox"/>	
					$(a \pm b)(a^2 \mp ab + b^2)$ の展開	<input type="checkbox"/>	
					置き換えによる展開の工夫	<input type="checkbox"/>	
		14	2 実数	③因数分解	因数分解、因数、共通因数でくくる	<input type="checkbox"/>	
					2次式の因数分解	<input type="checkbox"/>	
	たすきがけの因数分解	<input type="checkbox"/>					
	3次式の因数分解	<input type="checkbox"/>					
	置き換えによる因数分解の工夫	<input type="checkbox"/>					
	1つの文字について整理すること	<input type="checkbox"/>					
22	2 実数	①実数	自然数、正負の整数、整数	<input type="checkbox"/>			
			有理数、無理数、実数、既約分数	<input type="checkbox"/>			
			有限小数、無限小数、循環小数	<input type="checkbox"/>			
			数直線、絶対値とその記号	<input type="checkbox"/>			
			絶対値を場合分けすること	<input type="checkbox"/>			
			絶対値の性質	<input type="checkbox"/>			
27	2 実数	②根号を含む式の計算	平方根、 $\sqrt{\quad}$	<input type="checkbox"/>			
			$\sqrt{a^2} = a $	<input type="checkbox"/>			
			積と商の平方根	<input type="checkbox"/>			
			根号の中を簡単にすること	<input type="checkbox"/>			
			根号を含む式の計算	<input type="checkbox"/>			
			分母の有理化	<input type="checkbox"/>			
34	3 1次不等式	①不等式とその性質	不等式とその性質	<input type="checkbox"/>			
36			②1次不等式の解法	1次不等式とその解法	<input type="checkbox"/>		
				1次不等式の応用、連立不等式	<input type="checkbox"/>		
38			③不等式の応用	絶対値記号を含む方程式・不等式	<input type="checkbox"/>		
					<input type="checkbox"/>		
					<input type="checkbox"/>		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期期末考査	2章 集合・論証	50	1 集合	①集合	集合の表し方・部分集合	<input type="checkbox"/>
		56				2 命題と論証
57	2 命題と論証	①命題と条件	空集合・補集合・全体集合	<input type="checkbox"/>		
62			2 命題と論証	②論証	ド・モルガンの法則	<input type="checkbox"/>
	2 命題と論証	②論証			命題・真偽・仮定と結論・反例	<input type="checkbox"/>
			2 命題と論証	②論証	必要十分条件	<input type="checkbox"/>
	2 命題と論証	②論証			命題と対偶(を利用した証明)	<input type="checkbox"/>
			2 命題と論証	②論証	背理法	<input type="checkbox"/>
	3章 2次関数	71			1 関数とグラフ	①関数
		3章 2次関数	76	1 関数とグラフ		
	3章 2次関数		83		1 関数とグラフ	③2次関数の最大・最小
		3章 2次関数	88	1 関数とグラフ		
	3章 2次関数		88		1 関数とグラフ	④2次関数の決定
		3章 2次関数	88	1 関数とグラフ		
	3章 2次関数		88		1 関数とグラフ	④2次関数の決定
		3章 2次関数	88	1 関数とグラフ		
	3章 2次関数		88		1 関数とグラフ	④2次関数の決定
		3章 2次関数	88	1 関数とグラフ		
	3章 2次関数		88		1 関数とグラフ	④2次関数の決定

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
夏期講習	5章 データの分析	158	1 データの整理と分析	①データの整理	階級値・相対度数	<input type="checkbox"/>
		160		②代表値	平均値・中央値・最頻値	<input type="checkbox"/>
		162		③箱ひげ図	四分位数・ヒストグラム	<input type="checkbox"/>
		164		④箱ひげ図とデータの散らばり	範囲・四分位範囲・四分位偏差	<input type="checkbox"/>
		166		⑤分散と標準偏差		<input type="checkbox"/>
		171		①相関関係	分散・標準偏差	<input type="checkbox"/>
		172		2 データの相関	②相関係数	散布図・正の相関・負の相関 共分散・相関係数
	3章 2次関数	94	2 2次方程式・2次不等式	①2次方程式の解法	2次方程式の解の公式 2次方程式の x の係数が偶数の解法	<input type="checkbox"/>
		96		②2次方程式の実数解の個数	実数解、重解、判別式 D D の符号と2次方程式の実数解の個数	<input type="checkbox"/>
		98		③2次関数のグラフと x 軸の共有点	2次関数のグラフと x 軸の共有点の x 座標 2次関数のグラフと x 軸の位置関係 接する、接点	<input type="checkbox"/>

※夏期講習・・・前期5日間(10時間)後期5日間(10時間)実施する

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
2学期中間考査	3章 2次関数	102	2 2次方程式・2次不等式	④2次不等式	1次関数のグラフと1次不等式	<input type="checkbox"/>	
		109			⑤2次不等式の応用	2次関数のグラフを用いた2次不等式の解 解がすべての実数であるような2次不等式 2次不等式のまとめ 連立不等式 2次不等式の応用 2次不等式の解の符号	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期中間考査	4章 図形と計量	118	1 鋭角の三角比	①直角三角形と三角比	正接、 $\tan A$ 、仰角、俯角	<input type="checkbox"/>	
		118			②正接・正弦・余弦	正弦 $\sin A$ 、余弦 $\cos A$ 、正接 $\tan A$	<input type="checkbox"/>
		124			③三角比の相互関係	図形への応用、三角比の表 1つの三角比の値から他の三角比を求める	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		128	2 三角比の拡張	①三角比と座標	($90^\circ - \theta$)の三角比 三角比の座標による定義、鈍角の三角比	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		134			②三角比の性質	単位円、直線の傾きと正接 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のときの三角比の相互関係 1つの三角比の値から他の三角比を求める ($180^\circ - \theta$)の三角比	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄						
2学期期末考査	4章 図形と計量	138	3 三角形への応用	①正弦定理 ②余弦定理	外接円、正弦定理 余弦定理 2辺と1角が与えられた場合 3辺が与えられた場合 三角形の辺と角の大きさ 鋭角三角形、鈍角三角形 最大角、三角形の決定	<input type="checkbox"/>						
		142				<input type="checkbox"/>						
		146				③三角形の面積	三角形の面積の公式 3辺の長さから面積を求める 円に内接する四角形の面積	<input type="checkbox"/>				
		149				④空間図形の計量	正四面体、立方体、直方体の計量 平面図形の相似・相似比・面積比 立体の相似・相似比・表面積比・体積比	<input type="checkbox"/>				
		数学Ⅱ										
		3章 三角関数				110	1 三角関数	① 一般角	弧度法 扇形の弧の長さや面積	<input type="checkbox"/>		
						113				② 三角関数	三角関数の定義 単位円	<input type="checkbox"/>
						116				③ 三角関数の性質	三角関数の相互関係 の三角関数 $\theta + 2n\pi$ の三角関数 $\theta + \frac{\pi}{2}$ 、 $\theta + \pi$ の三角関数	<input type="checkbox"/>
						120				④ 三角関数のグラフ	三角関数のグラフ グラフの周期性や対称性 いろいろな三角関数のグラフ	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	3章 三角関数	126	1 三角関数	⑤ 三角関数の応用	三角方程式・不等式	<input type="checkbox"/>
		132	2 加法定理	①加法定理	加法定理の証明 15°、75°、105°、165°の 三角関数	<input type="checkbox"/>
137			②加法定理の応用	2倍角の公式 半角の公式	<input type="checkbox"/>	
140			三角関数の合成	合成の方法 関数の最大最小	<input type="checkbox"/>	
	1章 方程式・式と証明	6	1 整式の乗法・除法と 分数式	①整式の乗法と因数分 解	3次の乗法公式と因数分解	<input type="checkbox"/>
8		②二項定理		二項定理の理解 パスカルの三角形	<input type="checkbox"/>	
12		③整式の除法		除法の演算 整式と商・余りの関係	<input type="checkbox"/>	
15		④分数式とその計算		約分・通分 加法・減法・乗法・除法	<input type="checkbox"/>	
21		2 2次方程式	①複素数と演算	複素数の加法・減法・乗法・除 法	<input type="checkbox"/>	
26			②解の公式	解の公式 判別式	<input type="checkbox"/>	
30			③解と係数の関係	解と係数の関係 2次式の因数分解	<input type="checkbox"/>	
				与えられた2数を解とする2次 方程式 2次方程式の実数解の符号	<input type="checkbox"/>	

ハイレベルクラスは難度の高い問題を行う。スタンダードクラスは基本問題から応用問題まで行う

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学 I
	単位数			4	
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学 I Advanced(東京書籍)・数学 II Advanced(東京書籍)				
副教材等	HI-PRIME I +A、HI-PRIME II +B(ともに東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学 I、数学 II(ともに数研出版)				

1. 学習内容

<p>「数と式」、「集合と論証」、「2次関数」、「図形と計量」、「データの分析」の5単元を学びます。</p> <p>「数と式」……整式の計算や因数分解、実数や平方根や絶対値の性質等を扱います。</p> <p>「集合と論証」…集合の共通部分・和集合・空集合を学び、必要条件・十分条件や命題の逆・裏・対偶と背理法を扱います。</p> <p>「2次関数」……2次関数の最大・最小、2次不等式をグラフを利用して解く方法を学んでいきます。</p> <p>「図形と計量」…三角比・正弦定理等を学び、平面図形や空間図形の面積・体積の求め方を扱います。</p> <p>「データの分析」…データの整理・分析を行い、活用できるようにします。</p> <p>「三角関数」…三角比より一般角を定義し発展させます。(数学 II)</p> <p>「方程式・式と証明」…虚数解をもつ方程式や解と係数の関係等、方程式を深く学びます。(数学 II)</p>

2. アドバイス

<p>予習・復習をしっかりやるのが大切です。計算が苦手な人も得意な人も、まずは授業でしっかりノートをとって自宅で復習しましょう。</p> <p>すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。</p> <p>苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。</p>
--

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

<p>小テスト・朝テスト・宿題・課題・授業を受ける姿勢</p>

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
1学期中間考査	1章 数と式	6	1 式の計算	①整式	単項式、次数、係数	<input type="checkbox"/>	
		8			②整式の加法・減法・乗法	多項式、項、整式、同類項	<input type="checkbox"/>
						n 次式、定数項	<input type="checkbox"/>
		14	③因数分解	降べきの順、昇べきの順	<input type="checkbox"/>		
				整式の和・差、 a の累乗	<input type="checkbox"/>		
				指数、指数法則	<input type="checkbox"/>		
		22	2 実数	①実数	単項式の積、分配法則	<input type="checkbox"/>	
					乗法公式(2次・3次の式の展開)	<input type="checkbox"/>	
					$(a \pm b)(a^2 \mp ab + b^2)$ の展開	<input type="checkbox"/>	
		27	②根号を含む式の計算	置き換えによる展開の工夫	<input type="checkbox"/>		
因数分解、因数、共通因数でくくる	<input type="checkbox"/>						
2次式の因数分解	<input type="checkbox"/>						
34	3 1次不等式	①不等式とその性質	たすきがけの因数分解	<input type="checkbox"/>			
			3次式の因数分解	<input type="checkbox"/>			
			置き換えによる因数分解の工夫1つの文字について整理すること	<input type="checkbox"/>			
36	②1次不等式の解法	自然数、正負の整数、整数	<input type="checkbox"/>				
		有理数、無理数、実数、既約分数	<input type="checkbox"/>				
		有限小数、無限小数、循環小数	<input type="checkbox"/>				
38	③不等式の応用	数直線、絶対値とその記号	<input type="checkbox"/>				
		絶対値を場合分けすること	<input type="checkbox"/>				
		絶対値の性質	<input type="checkbox"/>				
	ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	平方根、 $\sqrt{\quad}$	<input type="checkbox"/>			
			$\sqrt{a^2} = a $	<input type="checkbox"/>			
			積と商の平方根	<input type="checkbox"/>			
			根号の中を簡単にすること	<input type="checkbox"/>			
			根号を含む式の計算	<input type="checkbox"/>			
			分母の有理化	<input type="checkbox"/>			
			不等式とその性質	<input type="checkbox"/>			
			1次不等式とその解法	<input type="checkbox"/>			
			1次不等式の応用、連立不等式	<input type="checkbox"/>			
			絶対値記号を含む方程式・不等式	<input type="checkbox"/>			
			この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>			
				<input type="checkbox"/>			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄			
1学期期末考査	2章 集合・論証	50	1 集合	①集合	集合の表し方・部分集合	<input type="checkbox"/>			
		56				②補集合とド・モルガンの法則	共通部分・和集合	<input type="checkbox"/>	
		57	2 命題と論証	①命題と条件	空集合・補集合・全体集合		<input type="checkbox"/>		
		62			②論証	ド・モルガンの法則	<input type="checkbox"/>		
						命題・真偽・仮定と結論・反例	<input type="checkbox"/>		
		ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	必要十分条件 命題と対偶(を利用した証明) 背理法 この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>				
	3章 2次関数	1 関数とグラフ	71	①関数	$y = f(x)$, $y = f(a)$ 、関数の値 直線 $x = k$ 、直線 $y = k$ 関数の定義域・値域、最大値・最小値 2次関数、放物線、軸、頂点 下に凸、上に凸、平方完成	<input type="checkbox"/>			
			76			②2次関数とそのグラフ	2次関数の平行移動させたグラフ	<input type="checkbox"/>	
			83				③2次関数の最大・最小	2次関数の最大値・最小値	<input type="checkbox"/>
								定義域が与えられたときの最大値・最小値 最大・最小の応用 条件から2次関数を決定する	<input type="checkbox"/>
88		④2次関数の決定	連立3元1次方程式	<input type="checkbox"/>					
	ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>					

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
夏期講習	5章 データの分析	158	1 データの整理と分析	①データの整理	階級値・相対度数	<input type="checkbox"/>
		160		②代表値	平均値・中央値・最頻値	<input type="checkbox"/>
		162		③箱ひげ図	四分位数・ヒストグラム	<input type="checkbox"/>
		164		④箱ひげ図とデータの散らばり	範囲・四分位範囲・四分位偏差	<input type="checkbox"/>
		166		⑤分散と標準偏差		<input type="checkbox"/>
		171		①相関関係	分散・標準偏差	<input type="checkbox"/>
		172		2 データの相関	②相関係数	散布図・正の相関・負の相関
	3章 2次関数	2 2次方程式・2次不等式	94	①2次方程式の解法	2次方程式の解の公式 2次方程式の x の係数が偶数の解法	<input type="checkbox"/>
			96	②2次方程式の実数解の個数	実数解、重解、判別式 D D の符号と2次方程式の実数解の個数	<input type="checkbox"/>
			98	③2次関数のグラフと x 軸の共有点	2次関数のグラフと x 軸の共有点の x 座標 2次関数のグラフと x 軸の位置関係 接する、接点	<input type="checkbox"/>

※夏期講習・・・前期5日間(10時間)後期5日間(10時間)実施する

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	3章 2次関数	102	2 2次方程式・2次不等式 ハイレベル演習	④2次不等式 ⑤2次不等式の応用 大学入試問題にチャレンジ	1次関数のグラフと1次不等式 2次関数のグラフを用いた2次不等式の解 解がすべての実数であるような2次不等式 2次不等式のまとめ 連立不等式 2次不等式の応用 2次不等式の解の符号 この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>
		109				<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
	4章 図形と計量	118	1 鋭角の三角比 2 三角比の拡張	①直角三角形と三角比 ②正弦・余弦 ③三角比の相互関係 ①三角比と座標 ②三角比の性質	正接、 $\tan A$ 、仰角、俯角 正弦、 $\sin A$ 、余弦、 $\cos A$ 図形への応用、三角比の表 1つの三角比の値から他の三角比を求める ($90^\circ - \theta$)の三角比 三角比の座標による定義、鈍角の三角比 単位円、直線の傾きと正接 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のときの三角比の相互関係 1つの三角比の値から他の三角比を求める ($180^\circ - \theta$)の三角比	<input type="checkbox"/>
		118				<input type="checkbox"/>
		124				<input type="checkbox"/>
		128				<input type="checkbox"/>
		134				<input type="checkbox"/>
	ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
2学期期末考査	4章 図形と計量	138	3 三角形への応用	①正弦定理	外接円、正弦定理 余弦定理 2辺と1角が与えられた場合 3辺が与えられた場合 三角形の辺と角の大きさ 鋭角三角形、鈍角三角形 最大角、三角形の決定 三角形の面積の公式 3辺の長さから面積を求める 円に内接する四角形の面積 正四面体、立方体、直方体の計量 平面図形の相似・相似比・面積比 立体の相似・相似比・表面積比・体積比	<input type="checkbox"/>	
		142				②余弦定理	<input type="checkbox"/>
		146		③三角形の面積		<input type="checkbox"/>	
		149		④空間図形の計量		<input type="checkbox"/>	
				ハイレベル演習		大学入試問題にチャレンジ	この単元の応用力を養う
		数学Ⅱ					
	3章 三角関数	110	1 三角関数	① 一般角	弧度法 扇形の弧の長さ 三角関数の定義 単位円 三角関数の相互関係 の三角関数 $\theta + 2n\pi$ の三角関数 $\theta + \frac{\pi}{2}$, $\theta + \pi$ の三角関数	<input type="checkbox"/>	
		113				② 三角関数	<input type="checkbox"/>
		116				③ 三角関数の性質	<input type="checkbox"/>
		120				④ 三角関数のグラフ	<input type="checkbox"/>
	ハイレベル演習	大学入試問題にチャレンジ	この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	3章 三角関数	126	1 三角関数	⑤ 三角関数の応用	三角方程式・不等式	<input type="checkbox"/>
		132	2 加法定理	①加法定理	加法定理の証明 15° , 75° , 105° , 165° の 三角関数	<input type="checkbox"/>
137			②加法定理の応用	2倍角の公式 半角の公式	<input type="checkbox"/>	
140			三角関数の合成	合成の方法 関数の最大最小	<input type="checkbox"/>	
	1章 方程式・式と証明	6 8 12 15 21 26 30	1 整式の乗法・除法と 分数式	①整式の乗法と因数分 解 ②二項定理 ③整式の除法 ④分数式とその計算	3次の乗法公式と因数分解 二項定理の理解 パスカルの三角形 除法の演算 整式と商・余りの関係 約分・通分 加法・減法・乗法・除法 複素数の加法・減法・乗法・除 法 解の公式 判別式 解と係数の関係 2次式の因数分解 与えられた2数を解とする2次 方程式 2次方程式の実数解の符号	<input type="checkbox"/>
		2 2次方程式	①複素数と演算 ②解の公式 ③解と係数の関係		<input type="checkbox"/>	
			ハイレベル演習	大学入試問題にチャレ ンジ	この単元の応用力を養う	<input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年5～7組 スタンダード	教科	数学	科目	数学 A
				単位数	2
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学 A Advanced(東京書籍)				
副教材等	Hi-PRIME 数学 I +A(東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学A(数研出版) はぎ取り式練習ドリル数学 I (数研出版)				

1. 学習内容

<p>場合の数と確率・整数の性質、の2単元を学びます。(図形の性質は履修済み)</p> <p>「集合」……集合についての基本事項および有限集合の要素の個数を扱います。</p> <p>「場合の数」…和の法則・積の法則から様々な順列・組合せの問題等を取り上げていきます。</p> <p>「確率」……独立な試行や反復試行における確率や条件付き確率を扱います。</p> <p>「整数の性質」…約数・倍数、最大公約数・最小公倍数、ユークリッドの互除法、2元1次不定方程式などを学びます。</p> <p>「データの分析」…データの整理・分析を行い、活用できるようにします。(数学 I)</p>
--

2. アドバイス

<p>予習・復習をしっかりとやるのが大切です。計算が苦手な人は、授業でしっかりノートをとって自宅で復習しましょう。</p> <p>すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。</p> <p>苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。</p>

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 宿題・課題 ・ ノート提出 ・ 朝テスト ・ 授業を受ける姿勢
--

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	1章 場合の数と確率	8	1 場合の数	①集合の要素の個数	有限集合・無限集合 和集合・補集合の要素の個数	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		12		②樹形図と場合の数	樹形図・和の法則・積の法則	<input type="checkbox"/>
		16		③順列	階乗・順列・円順列・重複順列 ${}_n P_r$ の計算に習熟する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		22		④組合せ	組合せ・組分け ${}_n C_r$ の計算に習熟する 同じものを含む順列	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	1章 場合の数と確率	32	1 事象と確率	①事象と確率	試行・事象 全事象・根元事象・空事象 同様に確からしい	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		36	2 確率とその基本性質	②確率の基本性質	事象の確率 和事象・積事象 排反・確率の基本性質 排反事象の加法定理 一般の加法定理 余事象 余事象の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		43	3 いろいろな確率	① 独立な試行の確率	独立な試行の確率	<input type="checkbox"/>
		47			② 反復試行の確率	3つの独立な試行の確率 反復試行・反復試行の確率

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	1章 確率	51	3 いろいろな確率	③ 条件付き確率	条件付き確率 乗法定理 事後の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 整数の性質	60	1 約数と倍数	①約数と倍数	いろいろな数の倍数 素因数分解と約数 約数の利用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		65	2 ユークリッドの互除法と不定方程式	②最大公倍数と最小公約数	最大公倍数と最小公約数	<input type="checkbox"/>
		71		①除法の性質と整数の分類	除法の性質、整数の分類	<input type="checkbox"/>
76		② ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法	<input type="checkbox"/>		
2学期期末考査	2章 整数の性質	79	3 整数の性質の活用	③ 2元1次不定方程式	2元1次不定方程式の整数解 1組の整数解をユークリッドの互除法を用いて求める。 すべての整数解を求める	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
84	①記数法	2進法と10進法 2進数の計算 n 進法		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
89	②小数と分数	既約分数 \leftrightarrow 有限小数 循環小数		<input type="checkbox"/>		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	5章 データの分析(数学Ⅰ)		1 データの整理と分析	基礎力強化の総復習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
			2 データの相関	基礎力強化の総復習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
	数学A演習		1 場合の数と確率	基礎力強化の総復習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
			2 整数の性質	基礎力強化の総復習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
			3 図形の性質	基礎力強化の総復習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年4組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学A
				単位数	2
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学A Advanced(東京書籍)				
副教材等	Hi-PRIME 数学I+A(東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学A(数研出版)				

1. 学習内容

場合の数と確率・整数の性質、の2単元を学びます。(図形の性質は履修済み)
 「集合」……集合についての基本事項および有限集合の要素の個数を扱います。
 「場合の数」……和の法則・積の法則から様々な順列・組合せの問題等を取り上げていきます。
 「確率」……独立な試行や反復試行における確率や条件付き確率を扱います。
 「整数の性質」……約数・倍数、最大公約数・最小公倍数、ユークリッドの互除法、2元1次不定方程式などを学びます。
 「データの分析」……データの整理・分析を行い、活用できるようにします。(数学I)

2. アドバイス

予習・復習をしっかりとやるのが大切です。計算が苦手な人は、授業でしっかりノートをとって自宅で復習しましょう。
 すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。
 苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・ 小テスト
- ・ 宿題・課題
- ・ ノート提出
- ・ 朝テスト
- ・ 授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	1章 場合の数と確率	8	1 場合の数	① 集合の要素の個数	有限集合・無限集合 和集合・補集合の要素の個数	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		12		② 樹形図と場合の数	樹形図・和の法則・積の法則	<input type="checkbox"/>
		16		③ 順列	階乗・順列・円順列・重複順列	<input type="checkbox"/>
		22		④ 組合せ	${}_n P_r$ の計算に習熟する 組合せ・組分け ${}_n C_r$ の計算に習熟する 同じものを含む順列	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	1章 場合の数と確率	32	1 事象と確率	① 事象と確率	試行・事象 全事象・根元事象・空事象 同様に確からしい	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		36	2 確率と基本性質	② 確率の基本性質	事象の確率 和事象・積事象 排反・確率の基本性質 排反事象の加法定理 一般の加法定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		43	3 いろいろな確率	① 独立な試行の確率	余事象の確率 独立な試行の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		47		② 反復試行の確率	3つの独立な試行の確率 反復試行・反復試行の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	1章 確率	51	3 いろいろな確率	③条件付き確率	条件付き確率 乗法定理 事後の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 整数の性質	60	1 約数と倍数	①約数と倍数	いろいろな数の倍数 素因数分解と約数 約数の利用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		65	2 ユークリッドの互除法と不定方程式	②最大公倍数と最小公約数	最大公倍数と最小公約数	<input type="checkbox"/>
		71		①除法の性質と整数の分類	除法の性質、整数の分類	<input type="checkbox"/>
		76		④ ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける		
2学期期末考査	2章 整数の性質	79	3 整数の性質の活用	⑤ 2元1次不定方程式	2元1次不定方程式の整数解 1組の整数解をユークリッドの互除法を用いて求める。 すべての整数解を求める	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		84		①記数法	2進法と10進法 2進数の計算 n 進法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	89	②小数と分数	既約分数 \leftrightarrow 有限小数 循環小数	<input type="checkbox"/>		
		ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	<input type="checkbox"/>	

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末 考査	5章 データの 分析(数学 Ⅰ)		1 データの整理と分析	ハイレベル演習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
			2 データの相関	ハイレベル演習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
	数学A 演習		1 場合の数と確率	ハイレベル演習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
			2 整数の性質	ハイレベル演習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>
			3 図形の性質	ハイレベル演習	問題集を利用して演習を行う	<input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年 2・3組 スタンダード	教科	数学	科目	数学 A
				単位数	2
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学 A Advanced(東京書籍)				
副教材等	Hi-PRIME(東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学A(数研出版)				

1. 学習内容

場合の数と確率、整数の性質、図形の性質(平面図形)の3単元を学びます。
 「集合」……集合についての基本事項および有限集合の要素の個数を扱います。
 「場合の数」…和の法則・積の法則から様々な順列・組合せの問題等を取り上げていきます。
 「確率」……独立な試行や反復試行における確率や期待値について扱います。
 「整数の性質」…約数・倍数、最大公約数・最小公倍数、ユークリッドの互除法などを学びます。
 「図形の性質」…チェバ・メネラウスの定理や方べきの定理・共通接線等の図形に関する性質を学びます。

2. アドバイス

予習・復習をしっかりやるのが大切です。計算が苦手な人は、授業でしっかりノートをとって自宅で復習しましょう。
 すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。
 苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

小テスト ・ 朝テスト ・ 宿題・課題 ・ ノート提出
 授業を受ける姿勢 ・ 自主レポート

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	1章 場合の数と確率	8	1 場合の数	①集合の要素の個数 ②樹形図と場合の数 ③順列 ④組合せ	有限集合・無限集合	<input type="checkbox"/>
					和集合・補集合の要素の個数	<input type="checkbox"/>
		12			樹形図・和の法則・積の法則	<input type="checkbox"/>
		16			順列階乗・円順列・重複順列	<input type="checkbox"/>
	22		組合せ・組分け	<input type="checkbox"/>		
			同じものを含む順列	<input type="checkbox"/>		
1学期期末試験	1章 場合の数と確率	32	2 確率とその基本性質	①事象と確率	試行と事象	<input type="checkbox"/>
					全事象・根元事象・空事象	<input type="checkbox"/>
					同様に確からしい	<input type="checkbox"/>
					事象の確率	<input type="checkbox"/>
		36	3 いろいろな確率	①独立な試行の確率	積事象・和事象	<input type="checkbox"/>
					排反事象	<input type="checkbox"/>
	確率の基本性質	<input type="checkbox"/>				
	確率の加法定理	<input type="checkbox"/>				
			和事象の確率	<input type="checkbox"/>		
			余事象とその確率	<input type="checkbox"/>		
	43		②独立な試行の確率	独立な試行の確率	<input type="checkbox"/>	
				3つの独立な試行の確率	<input type="checkbox"/>	
	47		③反復試行の確率	反復試行・反復試行の確率	<input type="checkbox"/>	

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	1章確率	51	3 いろいろな確率	③条件付き確率	条件付き確率 確率の乗法定理 事後の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 整数の性質	60	1 約数と倍数	① 約数と倍数	いろいろな数の倍数 素因数分解と 約数の個数と総和 約数の利用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		65	2 ユークリッドの互除法と不定方程式	② 最大公倍数と最小公約数	公約数と最大公約数 公倍数と最小公倍数 最大公倍数と最小公約数	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		71		①除法の性質と整数の分類	除法の性質、整数の分類 連続する整数の積	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		76		②ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法	<input type="checkbox"/>
79		③2元1次不定方程式	1次不定方程式の解法 1次不定方程式とユークリッドの互除法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
2学期期末考査	2章 整数の性質	84	3 整数の性質の活用	①記数法	2進法と10進法 2進数の計算 n 進法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		89		②小数と分数	有限小数となる分数 循環小数 となる分数	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3章 図形の性質	100	1 三角形の性質	①三角形と比	三角形と比 中点連結定理 内分・外分 内角の二等分線と比 外角の二等分線と比 角の二等分線と比の定理の逆	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		104		②三角形の重心・外心・垂心・内心	重心・外心・垂心・内心(傍心) 外接円・内接円	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		109		③三角形の比の定理	チェバの定理とその逆 メネラウスの定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
学年末考査	3章 図形の性質	115	2 円の性質	①円周角の定理	円の基本性質 円周角の定理とその逆 直径と円周角	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		116		②円に内接する四角形	内接、円に内接する四角形 四角形が円に内接する条件	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		119		③接線と弦のつくる角	接弦定理	<input type="checkbox"/>	
		121		④方べきの定理	方べきの定理とその逆	<input type="checkbox"/>	
		124		⑤2つの円	外接する・内接する・共通接線 共通内接線・共通外接線	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		127	3 作図	①基本的な作図	垂直二等分線の作図 角の二等分線の作図	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		130		②長さの作図	積・商の長さの作図 平方根の長さの作図	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		134	4 空間図形	①直線と平面	2直線の位置関係 平面の決定条件 2平面の位置関係 2平面のなす角 直線と平面の位置関係 三垂線の定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		140			②多面体	正多面体 オイラーの多面体定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年 1組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学 A
				単位数	2
『学び』の 目標とねらい	高校数学の基礎となる知識を身につけ、計算力と論理的思考力を養う。				
教材	数学 A Advanced(東京書籍)				
副教材等	Hi-PRIME(東京書籍) はぎ取り式練習ドリル数学A(数研出版)				

1. 学習内容

場合の数と確率、整数の性質、図形の性質(平面図形)の3単元を学びます。
「集合」……集合についての基本事項および有限集合の要素の個数を扱います。
「場合の数」…和の法則・積の法則から様々な順列・組合せの問題等を取り上げていきます。
「確率」……独立な試行や反復試行における確率や期待値について扱います。
「整数の性質」…約数・倍数、最大公約数・最小公倍数、ユークリッドの互除法などを学びます。
「図形の性質」…チェバ・メネラウスの定理や方べきの定理・共通接線等の図形に関する性質を学びます。

2. アドバイス

予習・復習をしっかりやるのが大切です。計算が苦手な人は、授業でしっかりノートをとって自宅で復習しましょう。
すでに授業で学習した内容を理解していることが前提で授業が進みます。よって、わからないところがあれば、その日のうちに質問して、納得がいくまで考えるといった努力が必要です。
苦手な人は、まず小テストや課題提出をコツコツやってくることから始めてみましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

小テスト ・ 朝テスト ・ 宿題・課題 ・ ノート提出
授業を受ける姿勢 ・ 自主レポート

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	1章 場合の数と確率	8	1 場合の数	①集合の要素の個数	有限集合・無限集合 和集合・補集合の要素の個数	<input type="checkbox"/>
		12			②樹形図と場合の数	樹形図・和の法則・積の法則
		16		③順列	順列・階乗・円順列・重複順列	<input type="checkbox"/>
		22		④組合せ	組合せ・組分け 同じものを含む順列	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	
1学期期末試験	1章 場合の数と確率	32	2 確率とその基本性質	①事象と確率	試行と事象 全事象・根元事象・空事象 同様に確からしい 事象の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		36			②確率の基本性質	積事象・和事象 排反事象 確率の基本性質 確率の加法定理 和事象の確率 余事象とその確率
		43	3 いろいろな確率	①独立な試行の確率	独立な試行の確率 3つの独立な試行の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		47			②反復試行の確率	反復試行・反復試行の確率
			ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	

時期	テーマ		単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	1章 確率	51	3 いろいろな確率	③条件付き確率	条件付き確率 確率の乗法定理 事後の確率	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 整数の性質	60	1 約数と倍数	① 約数と倍数	いろいろな数の倍数 素因数分解と 約数の個数と総和 約数の利用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		65	2 ユークリッドの互除法と不定方程式	② 最大公倍数と最小公約数	公約数と最大公約数 公倍数と最小公倍数 最大公倍数と最小公約数	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				①除法の性質と整数の分類	除法の性質、整数の分類 連続する整数の積	<input type="checkbox"/>
		②ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法	<input type="checkbox"/>		
			③2元1次不定方程式	1次不定方程式の解法 1次不定方程式とユークリッドの互除法	<input type="checkbox"/>	
			ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	
2学期期末考査	2章 整数の性質	84	3 整数の性質の活用	①記数法	2進法と10進法 2進数の計算 n 進法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		89		②小数と分数	有限小数となる分数 循環小数 となる分数	<input type="checkbox"/>
	3章 図形の性質	100	1 三角形の性質	①三角形と比	三角形と比 中点連結定理 内分・外分 内角の二等分線と比 外角の二等分線と比 角の二等分線と比の定理の逆	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
104		②三角形の重心・外心・垂心・内心		重心・外心・垂心・内心(傍心) 外接円・内接円	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
109		③三角形の比の定理		チェバの定理とその逆 メネラウスの定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	

時期	テーマ		単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
学年末考査	3章 図形の性質	115	2 円の性質	①円周角の定理	円の基本性質 円周角の定理とその逆 直径と円周角	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		116		②円に内接する四角形	内接、円に内接する四角形 四角形が円に内接する条件	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		119		③接線と弦のつくる角	接弦定理	<input type="checkbox"/>	
		121		④方べきの定理	方べきの定理とその逆	<input type="checkbox"/>	
		124		⑤2つの円	外接する・内接する・共通接線 共通内接線・共通外接線	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		127	3 作図	①基本的な作図	垂直二等分線の作図 角の二等分線の作図	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		130		②長さの作図	積・商の長さの作図 平方根の長さの作図	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		134	4 空間図形	①直線と平面	2直線の位置関係 平面の決定条件 2平面の位置関係 2平面のなす角 直線と平面の位置関係 三垂線の定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		140		②多面体	正多面体 オイラーの多面体定理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
				ハイレベル演習	大学入試に挑戦	この単元の応用力をつける	

2020年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	理科	科目	物理基礎
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	ボールや乗り物の運動などの日常における物理現象と結びつけながら授業内容を理解する。				
教材	『高校物理基礎』 実教出版				
副教材等	【必携】『レポート&チャージ物理基礎ドリル』 3冊 運動と力、仕事とエネルギー／熱、波・電気 実教出版				

1. 学習内容

物理的な事物・事象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高めることを目標とする。

第1章 物体の運動 においては速さと速度の定義を理解するとともに、物理で使う単位等を学び、速度・加速度、力、運動の法則を学ぶ。

第2章 エネルギー では力学的エネルギー、熱の扱い方と、熱とエネルギーの変換を中心に学ぶ。

第3章 波 では波の性質・音と音波等を学ぶ。

第4章 電気 では基本的な事柄である電気現象を学ぶ。

第5編 人間と物理 ではエネルギーと物理学が未来に向けて貢献するための基礎的事項を学ぶ。

ハイレベルとスタンダードで扱う内容は変わらないが、試験の難易度は多少の差がある。

2. アドバイス

我々の身の回りには多種多様な自然現象があります。その法則を理解するのが物理です。重要な法則を理解するためにも問題演習を数多く解き、考え方を深めることを望みます。そのためには副教材での問題集を復習し、前回の授業をより身につけられるよう努力を望みます。また、授業内容を自分なりにまとめてみるのも非常に効果が高いです。少し時間が掛かりますが、是非復習にしっかり取り組んで欲しいと思います。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(小テスト・課題・出席)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	1章 物体の運動 1節 運動の表し方	8-15	速度	速さと等速直線運動 時速と秒速 等速直線運動のグラフ 変位 平均の速さと瞬間の速さ 速度の合成、相対速度	物理学の手法、測定を理解する 運動を観測しデータの整理をする 等速直線運動 $v=x/t$ を理解する 等速直線運動のグラフについて理解し、自ら作成することができる 平均/瞬間の速さの違いを理解する 相対速度が求められる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		16-19	加速度	加速度とは 等加速度直線運動 等加速度運動のグラフ	加速度とは何かを理解し求められる 等加速度直線運動の式を理解し、実践的にあてはめることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		20-27	落体の運動	自由落下 鉛直投射 水平投射 斜方投射	重力加速度を用いた運動を解析する 自由落下運動、鉛直投射、水平投射、斜方投射の運動を理解する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	1章 物体の運動 2節 力 3節 運動の法則	28-29	力とそのはたらき	力 いろいろな力	力とはなにかを理解する 力を矢印で的確に表すことができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		30-31	力の合成	力の合成・分解	力の合成・力の分解・2力のつり合い	<input type="checkbox"/>
		32-33	力のつりあい	力のつりあい 作用と反作用	について表すことができる 作用反作用の法則・2力のつりあいと作用反作用の違いがわかる	<input type="checkbox"/>
		36-37	摩擦を受ける運動	静止摩擦力 動摩擦力	静止/動摩擦力について理解する	<input type="checkbox"/>
38-43	圧力と浮力	圧力 浮力 空気の抵抗	圧力、気圧、水圧について理解し、浮力を用いて運動を解析できる 空気抵抗を受けて落下する物体の運動について解析できる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
44-59	運動の法則	慣性の法則 運動の法則 運動方程式 重さと重量	慣性の法則を視覚的に捉える 運動の法則を理解し、運動と力の関係について正しく理解する 運動方程式を立て、物体にはたらく力よりその物体の運動を解析することができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
夏休み			課題: 1学期の復習プリント 夏期講習: なし			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	2章 エネルギー 1節 仕事とエネルギー	68-71	仕事	仕事 仕事の原理、仕事率	仕事の定義を理解する 仕事の原理とはなにかわかる	<input type="checkbox"/>
		72-73	運動エネルギー	運動エネルギー	運動エネルギーを理解し式を立てることができる	<input type="checkbox"/>
		74-75	位置エネルギー	位置エネルギー(重力、弾性力)	重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーを理解し、式を立てられる	<input type="checkbox"/>
		76-81	力学的エネルギー保存	力学的エネルギー保存則	ブランコ・振り子等の運動を力学的エネルギーを用いて解析する	<input type="checkbox"/>
2学期期末考査	2章 エネルギー 2節 熱とエネルギー 4章 1節 電流の流れ方 2節 電気の利用	82-85	熱と熱量	温度、熱量、熱容量、比熱、熱量の保存	温度について意味を理解する 熱量の保存について理解する	<input type="checkbox"/>
		86-87	熱と物質の状態	物質の三態 熱膨張	融解熱や蒸発熱の潜熱が状態変化に必要であるとわかる	<input type="checkbox"/>
		88-89	熱と仕事	熱と仕事、内部エネルギー、熱力学第一法則	内部エネルギー、仕事、熱量から熱力学第一法則を理解する	<input type="checkbox"/>
		96-97	熱と仕事の変換	熱効率	熱機関・熱効率についてわかる	<input type="checkbox"/>
		130-131	電気の性質	静電気 物体が帯電するしくみ	静電気の存在、帯電のしくみについて視覚的に捉える	<input type="checkbox"/>
		132-137	電流と電気抵抗	電流 オームの法則 抵抗率 抵抗の接続	電流・電圧・抵抗の関係であるオームの法則を理解する 金属による抵抗率の違いを理解し、どのような物理量に抵抗値が起因するか理解する	<input type="checkbox"/>
		138-141	電気とエネルギー	ジュール熱 電力量と電力	抵抗で発生するジュール熱が電気のエネルギーによるもので、エネルギー保存則によって関係式を導ける	<input type="checkbox"/>
		142-143	磁場	電流がつくる磁場	電流と磁場の関係を知る	<input type="checkbox"/>
		144-147	発電	電磁誘導、変圧、送電	電磁誘導を学ぶことにより発電のしくみを知る	<input type="checkbox"/>
		148-149	交流	交流の性質		
140-141	電磁波	電磁波の性質 電磁波の種類	電磁波の種類、特徴を理解する 電波の発生、伝わり方を理解し、その実用例を学ぶ	<input type="checkbox"/>		

冬休み		課題:3学期の予習プリント 冬期講習: なし	
-----	--	---------------------------	--

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	3章 波	100-105	波と媒質の運動	波動、波の発生、波の表し方、横波と縦波	波動・振動と波・振動を表す量を学ぶ 波の基本式を理解する 横波と縦波を視覚的に理解する	<input type="checkbox"/>
	1節 波の性質	106-111	重ねあわせの原理	重ねあわせの原理	2つの波を重ねることによって視覚的に波の重ね合わせの原理を理解する	<input type="checkbox"/>
	2節 音と振動		波の反射	定常波 自由端反射 固定端反射	定常波を視覚的に捉え作図できる 自由端反射・固定端反射を視覚的に理解しグラフを作図できる	<input type="checkbox"/>
		112-115	音の性質	音波 音の速さ 音の大きさ、高さ、音色 うなり	音波・音の3要素について、波の性質をもとに理解する 音さを用いて共鳴、うなりを体感するとともに理解する	<input type="checkbox"/>
		116-121	弦と気柱の振動と共振・共鳴	弦の振動 気柱の振動 共振、共鳴	弦の振動について視覚的に捉え、どのような波形になるかわかる 開管と閉管について定常波を作図し、管楽器の仕組みを理解する	<input type="checkbox"/>
	5章 人間と物理	160-167	エネルギーの移り変わり	いろいろなエネルギー エネルギーの変換と保存・エネルギー資源・化学燃料・原子力・太陽光・その他のエネルギー資源	エネルギーの変換をエネルギー保存則とともに理解する 火力、水力、原子力発電のしくみを理解し資源の問題を考える	<input type="checkbox"/>
		168-171	エネルギー資源と発電	原子と原子核について学び、放射線の発生やその影響について理解する	<input type="checkbox"/>	

春休み		課題:特になし 春期講習: なし	
-----	--	---------------------	--

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	理科	科目	化学基礎
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	身の回りのものすべてが原子で構成されていることを理解する。				
教材	『新版化学基礎』 実教出版				
副教材等	【必携】 『アクセスノート 化学基礎』 実教出版 【あると便利なもの】 特に指定はしない。				

1. 学習内容

人類は古来より地球上にある様々な物質を研究し、現在では自然界にはない物質も作り出すことができるようになってきました。化学とは、その物質の成り立ちについて学ぶ学問です。化学基礎は、元素を知り、物質の根源である原子の構造を学ぶところからスタートします。1学期は物質の構成粒子や結合を土台に、物質の性質や特徴を学びます。元素記号や様々な物質の化学式など暗記しなければならないこともたくさんありますが、ルールやその背景を学ぶことで暗記もぐっと楽になります。2学期は、物質をつくる粒子数に着目した物質量(単位:モル)という概念を学びます。反応する物質の量的関係を考えるなど、物質量の概念を応用できるようになることも大きな目標です。これらを土台に、2学期後半から3学期にかけて、溶液の性質や化学変化などを学んでいきます。ハイレベルクラスは発展学習や入試問題演習にも取り組みますが、進度自体はスタンダードクラスと同じです。

なお、学習指導計画に記載されている●◆は、ハイレベルクラスのための学習項目です。

2. アドバイス

- ・授業に集中して参加すること。
- ・きちんと板書し、後に自分が利用できるノートをつくること。
- ・口頭でなされた説明もノートにメモする習慣をつけること。
- ・暗記すべき事がらをしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図表にあらわして理解する習慣をつけること。
- ・出される課題、指示された小テストにしっかり取り組むこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(小テスト・課題・ノート提出・出席)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	物質の構成・物質の構成粒子	14-17	物質の種類と性質	純物質と混合物 混合物の分離・精製	・混合物と純物質の違いが理解できる。 ・さまざまな分離法を理解することができる。 ・蒸留の方法を図示することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		18-21	物質と元素	同素体	・すべての同素体およびその性質を理解することができる。	<input type="checkbox"/>
		22-25	物質の三態と熱運動	物質の三態	・物理変化のしくみを理解することができる。 ・絶対温度の計算ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		26-32	原子の構造	原子の構造 同位体 電子配置	・原子の構造(陽子・中性子・電子)を理解することができる。 ・同位体について理解することができる。 ・原子番号 20 までの元素周期表を書くことができる。 ・原子番号 20 までの電子配置を示すことができる。 ・価電子の数と周期表の関係を理解することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		33-35	イオン	イオンとイオンの生成	・イオンの生成を電子配置から理解することができる。 ・おもな単原子イオン・多原子イオンを書くことができる。 ・イオン化 En・電子親和力について理解することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		36-38	周期表	元素の周期律と周期表	・原子番号 36 までの元素周期表を書くことができる。 ・典型・遷移元素、金属・非金属元素の分類ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	粒子の結合	46-49	イオン結合とイオンからなる物質	イオン結合とイオン結晶	・イオン結合のしくみを理解することができる。 ・組成式をつくることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		50-58	共有結合と分子間力	分子 電子式・構造式 配位結合 電気陰性度と極性 分子間にはたらく力	・共有結合のしくみを理解することができる。 ・分子を電子式や構造式で表すことができる。 ・分子の形を表現することができる。 ・配位結合のしくみを理解することができる。 ・電気陰性度や極性から水素結合を理解することができる。 ・分子間力について理解することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		59-61	共有結合と物質	分子からなる物質・共有結合の結晶	・分子結晶や共有結合結晶のしくみを理解することができる。	<input type="checkbox"/>
		62-63	金属結合と金属	金属結合と金属の性質	・金属結合や金属結晶のしくみを理解することができる。	<input type="checkbox"/>
夏休み			各自で復習を行う 重点項目： 原子の構造・電子配置・周期表・イオン結合・共有結合			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
2学期中間考査	物質量和化学反応式	80-84	原子量・分子量・式量 物質量	相対質量	<ul style="list-style-type: none"> ・^{12}Cを基準とした相対質量を理解することができる。 ・同位体の存在比から原子量を求められる。 ・原子量から、分子量、式量を求められる ・物質1molは6.0×10^{23}個であることを理解することができる。 ・物質1molは分子量gであることを理解することができる。 ・気体1molは22.4Lであることを理解することができる。 ・物質量をテーマとした計算問題を解くことができる。 ・質量パーセント濃度の意味を理解することができる。 ・モル濃度の意味を理解することができる。 	<input type="checkbox"/>
		84-94		物質量とアボガドロ数		<input type="checkbox"/>
	物質量と質量	<input type="checkbox"/>				
	物質量と気体の体積	<input type="checkbox"/>				
	物質量の計算	<input type="checkbox"/>				
	溶液の濃度	<input type="checkbox"/>				
				<input type="checkbox"/>		
2学期期末考査	物質量和化学反応式・酸と塩基の反応	98-105	化学反応式と物質量	化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応式をつくる時の決まりを理解することができる。 ・化学反応式の係数を決定することができる。 ・係数と物質量の比が等しいことを理解することができる。 ・量的関係をテーマとした計算問題を解くことができる。 ・酸・塩基の定義を理解することができる。 ・酸・塩基を強弱ごとに分類することができる。 ・pHの意味を理解し、その値を求めることができる。 ・指示薬の変色域を述べることができる。 ◆logを用いてpHの値を求めることができる。 	<input type="checkbox"/>
		108-112		酸・塩基の定義		<input type="checkbox"/>
		113-117	酸・塩基の価数・強弱	<input type="checkbox"/>		
		水の電離と水溶液のpH	水素イオン濃度とpH	<input type="checkbox"/>		
				<input type="checkbox"/>		
冬休み			各自で復習を行う 重点項目：物質量の計算・化学反応式の量的関係・酸と塩基			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
3学期学年末考査	酸と塩基の反応・酸化還元反応	120-124	中和反応	中和反応 中和滴定 滴定曲線	・中和のしくみを理解することができる。 ・中和滴定の器具の使用方法を理解することができる。 ・中和の公式を理解し、計算することができる。 ・反応する酸と塩基の種類から滴定曲線が判断できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		125-127	塩	塩の分類と水溶液	・塩の種類について理解することができる。 ・塩の化学式から、もとになった酸・塩基の化学式がわかる。 ・塩の化学式から塩の水溶液の性質がわかる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		128-132	酸化と還元	酸化還元の定義	・酸素・水素の授受で酸化還元を説明することができる。 ・電子の授受で酸化還元を説明することができる。 ・酸化と還元は同時に起こっていることが分かる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		134-138	酸化剤と還元剤	酸化数	・反応式から、酸化・還元された物質を判別できる。 ・化合物・イオンの中にある各原子の酸化数を求められる。 ・酸化数の増減で反応式中の酸化還元を判別できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				酸化剤・還元剤	・反応式中の酸化剤・還元剤を判別できる。 ・代表的な酸化還元反応式が書ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		140-143	金属の酸化還元反応	金属のイオン化傾向	・酸化還元反応の量的関係がわかる。 ・金属のイオン化列をおぼえることができる。 ・イオン化列と金属の反応性の関係を理解することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		144-152	酸化還元反応の利用	電池 ●電気分解	・ダニエル電池のしくみを理解することができる。 ・鉛蓄電池のしくみを理解することができる。 ◆電気分解により、陰極・陽極で生成する物質がわかる。 ◆ファラデーの法則による問題を解くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
春休み			各自で復習を行う 重点項目： 中和滴定・酸化数・酸化還元反応・金属のイオン化傾向・電池・電気分解			

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～7 組	教科	理科	科目	生物基礎
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	学んだことが実生活に生かされていることを理解できる。				
教材	『生物基礎』東京書籍				
副教材等	【必携】『改訂版 フォトサイエンス生物図録』(タブレット版)数研出版 『改訂版 スタディアップノート生物基礎』数研出版 問題演習用のノート 1 冊				

1. 学習内容

1 年次の生物基礎(必修)、2 年次の生物(選択)、および 3 年次の生物演習(選択)を学習すれば、理系の生物受験に対応できるように計画しています。また、文系でも国公立大学を志望する生徒は大学入学共通テストで必要となります。

生物基礎では、みなさんがこれから生きていく上で身につけるべき生物学的知識を扱います。地球上の生物にはさまざまな動物、植物がおり多様ですが、すべての生物には共通するしくみがあります。例えば、細胞でできていること、DNAをもつこと、エネルギーを利用すること、自分と同じような子孫をつくること、体内の状態を一定に保つことです。これらの生物の共通性について 1、2 学期に学習します。そして、生物の多様性について 3 学期に学習します。また、所々で 2 年生の内容に踏み込んで学習し、理解を深めます。適宜、プリントや資料集等で補っていきます。

2. アドバイス

生物は暗記科目ととらえがちですが、一問一答の丸暗記では大学入試には対応できません。授業中の問題演習や授業後の宿題を中心に、自分で調べたり、考えたりしながら学習をすすめましょう。

授業で使用する問題集には、基本的な問題がのっています。この問題集を完璧にできるようにしなければ、高校 2 年生の生物の授業をはじめ、大学受験も難しいでしょう。初めは授業プリントを見ながら解き、2 回目、3 回目と何度か解きなおして、定期考査までには完全に自力で解けるようにしましょう。また、授業中に小テストを行い、確認や復習を行っていきます。高校 2 年生で演習ができるように、前向きに取り組みましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(小テスト・課題・実験)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	生物の特徴	8-50	生物の多様性と共通性	生物の特徴 細胞の多様性 細胞の構造	生物の共通性と多様性 単細胞生物と多細胞生物 細胞小器官の名称、形、はたらき 動物細胞と植物細胞の違い 真核細胞と原核細胞の違い 共生説 細胞の大きさ 顕微鏡の使い方 マイクロメーターを使った実験	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			生命活動とエネルギー	エネルギーと代謝 生体内におけるエネルギー変換 代謝にかかわる酵素	生体を構成する物質 同化と異化(光合成と呼吸) ATPの構造とはたらき 酵素のはたらき	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	遺伝子とそのはたらき	51-94	生物と遺伝子 遺伝情報とタンパク質の合成 遺伝情報の分配	DNAの構造 遺伝子研究の歴史 RNAの構造と種類 タンパク質合成 染色体とゲノム 細胞の分化 細胞周期 DNAの複製 体細胞分裂	ヌクレオチド、DNAの構造 DNAの抽出実験 肺炎双球菌の形質転換 バクテリオファージの実験 DNAとRNAの違い タンパク質合成の過程 染色体の構造、ゲノム、遺伝子 分化、パフ 細胞周期 半保存的複製 体細胞分裂のしくみ 固定、解離、染色	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
夏休み			課題: 1学期の復習			

2学期中間考査	生物の体内環境の維持	95-115	体内環境	恒常性 体液の種類 血液の成分とはたらき 体液の循環 肝臓のはたらき 体液の濃度調節	体外環境と体内環境 血液、組織液、リンパ液 血球、血しょうのはたらき 体循環と肺循環、閉鎖血管系 酸素解離曲線 血液凝固のしくみ 肝臓の構造とはたらき 腎臓の構造、ろ過と再吸収 濃縮率の計算 魚類の体液の濃度調節	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	生物の体内環境	116-170	体内環境の調節 免疫	自律神経系による調節 内分泌系による調節 自律神経系とホルモンによる協同作業 免疫とは 自然免疫 獲得免疫 免疫とヒト	交感神経と副交感神経 ホルモンの種類とはたらき フィードバック調節 血糖量の調節 体温の調節 物理的防御、化学的防御 食作用 体液性免疫と細胞性免疫 二次応答 血液の凝集反応 予防接種、血清療法 アレルギー、エイズ、がん	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
冬休み			課題:これまでの復習			

3 学 期 学 年 末 考 査	生 物 の 多 様 性 と 生 態 系	171-234	植生の多様性と分 布 気候とバイオーム	植生の種類 世界のバイオーム 日本のバイオーム	植生の分類 森林の階層構造 気温・降水量とバイオームの種類 水平分布と垂直分布 光の強さと光合成の関係 陽生植物と陰生植物 一次遷移と二次遷移 乾性遷移と湿性遷移 ギャップ 作用と環境形成作用 食物連鎖と食物網 炭素の循環と窒素の循環 エネルギーの流れ 復元力、キーストーン種 地球温暖化、オゾン層の破壊 富栄養化、生物濃縮 里山、干潟 外来生物	<input type="checkbox"/>
			植生の遷移 生態系とその保全	植生の遷移 生態系の成り立ち 物質循環とエネルギーの 流れ 生態系のバランス 生物多様性の保全		<input type="checkbox"/>
春 休 み			課題:これまでの復習			

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	保健体育	科目	体育
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	基本的な体力向上と運動を通して、ルールやマナーなどを学習し、周囲との協力や責任ある態度を身につける。				
教材	ステップアップ体育スポーツ2020 大修館				
副教材等					

1. 学習内容

○種目については、施設と時間割の関係で決定します。

- ・集団行動 ・新体カテスト ・体力づくり運動
- ・陸上(走運動:短距離・ハードル・持久走、跳運動:走り高跳び)
- ・器械運動(マット運動・跳び箱)
- ・水泳
- ・球技(バスケットボール・ハンドボール・サッカー・バレーボール・卓球・バドミントン)
- ・ダンス(リズムダンス、創作ダンス)
- ・体育理論

2. アドバイス

高校生となって、継続的に基本的な体力向上とそれに伴うバランス感覚など、運動に必要な基礎体力を中心に進めていくことが重要です。運動を楽しく積極的に取り組んでいくことに重点を置くので、自らが積極的に取り組んでいく心がけを忘れないようにしてください。また、自分の体力や運動能力を知り、向上させていくためにはどのようにしたらよいのかを考え、どうしたら楽しく体を動かしながら努力できるのか、個人の体力や運動能力へとつながるのかを考えながら取り組みましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・実技試験
- ・授業へ取り組む姿勢や態度
- ・その他(見学が多い場合には課題)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	集団行動	324	整列隊形 ・4列横隊 ・姿勢・礼・整頓 ・行進	集団行動の意味を理解し、積極的に行動することによって能率的で安全に行えるよう基本動作を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・主な行動様式を身につけた ・迅速で的確に行動できた。 ・お互いに協力し、自己責任を果たせた。 ・リーダーに従い、安全に行動することができた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	体操(体力づくり)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動 ・体ほぐし ・新体カテスト 	体力の向上を目指し、どのような種目であっても取り組めるようにする。 体カテスト。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に必要な体力と専門的運動能力を高め、実践できた。 ・自分の体力診断を理解し、取り組めた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
通年	陸上競技	60 74	走種目 <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・中・長距離走 跳種目 <ul style="list-style-type: none"> ・走高跳び はさみ跳び ベリーロール 	STEP:A 走跳の基本的特性に触れ、運動体感を通して楽しさを体験する。 STEP:B それぞれの技能を上達させ、記録向上を目指す。 STEP:C 感覚だけでなく、理論的にも技術を理解し、完成度の高い技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートのフォームチェック。 ・腕を素早く振ること。 ・キックした足のかかとをお尻に引きつける。 ・遠心力を使って飛べる。 ・大きな空中姿勢が出来る。 ・安全に着地できる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	体操(器械運動)	29	マット運動 跳び箱	STEP:A 基本技能の習得 STEP:B 基本技能の習熟と発展 STEP:C 高度な技への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・STEP A・B・Cと基礎技の位置づけ(技の系統性、発展性の関係を理解)を理解し、自分にあった技を選び練習ができた。 ・自分ができる技の数を増やせた。 ・できた技の質を高めることができた。 ・技の組合せ上の原則や注意点を理解し、連続技の練習ができた。 ・演技構成とその連続技の練習ができた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
通 年	水 泳	85	クロール	STEP:A 水泳の基礎・基本となる技能を学習し、クロール・平泳ぎである程度長い距離を泳げるようになる。	クロール ・呼吸法が難しいため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>	
			平泳ぎ	STEP:B 各種泳法の技能を高め、個人メドレーができるようになる。	平泳ぎ ・キックとバランスが難しいため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>	
			背泳ぎ	STEP:C 得意種目の強化を図るとともに、横泳ぎ、立ち泳ぎ、簡易水球などを通して総合的な水泳能力の向上を図る。	背泳ぎ ・呼吸法は楽だが、力が入ると浮かないため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>	
			バタフライ		バタフライ ・呼吸法が難しくタイミングが難しいため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>	
			ターン 個人メドレー		ターン、個人メドレー ・クイックターンから4種メドレーが出来たか。	<input type="checkbox"/>	
	球 技 (ゴ ール 型 ・ ネ ット 型)	102 124 142 162 198 212	バスケットボール	STEP:A 球技の基礎・基本となる技能を学習し、学習の進め方、行い方を楽しみながら学習する。	ボールの特性や道具、体力に合わせて基本的技能を身に付ける。	<input type="checkbox"/>	
			ハンドボール	STEP:B 各種目の個人技能を高め、工夫を加えて楽しさを深められるようにする。	技能が高まることにより、それに応じた学習を考えながら取り組む。	<input type="checkbox"/>	
			サッカー	STEP:C 各種目の技能を高めながらチームとして協力しながら作戦を工夫し、相手とのマナーやルールを守る態度を養う。	安全にゲームが楽しめるようにできているか、確認しながら取り組むことができる。	<input type="checkbox"/>	
			バレーボール				
			卓球				

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
通 年	ダンス	279	リズムダンス 創作ダンス	STEP:A イメージやアイデアを生かして運動表現が出来るように発展させていく。 STEP:B みんなの協力で創意工夫してダンスを完成させて発表する。	・自分たちの踊りや表現が見ている人にも体の表現として伝わっているのか。 ・みんながリズムにのせて特徴的なダンスを計画して踊り、安全に最後まで取り組めているか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		116 136 158	効果的な運動技能を高め方 運動スポーツでの戦術 運動スポーツの文化的特徴 運動スポーツの学び方 豊かなスポーツライフの設計	体育スポーツの種目ごとにあるルールと運動技能について学ぶ。 オリンピックなどスポーツとの関わり方 メンタルトレーニング 体カトレーニング 生涯スポーツとしての考え方	・理解できた効果的技能を実践できたか。 ・技や戦術を実践できたか。 ・スポーツに対するとらえ方を理解できたか。 ・ルールや技術向上は、もちろん、効果的に力を発揮するのに運動技能とコントロールが理解できたか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	保健体育	科目	保健
				単位数	1
「学び」の 目標とねらい	現代社会の中で生きていく上で、健康に過ごしていくためには、 どのようにしたら良いかを考え、現代の健康問題とその対策を学習する。				
教材	現代高等保健体育改訂版(大修館)				
副教材等	【必携】 図説 現代保健(大修館) ノート				

1. 学習内容

現代の健康問題や新しい時代の健康のあり方などについて理解する。
健康に対する関心が変化してきている中で、しっかりとした知識と間違った考えを改める。
時代の流れの中で、健康自体のとらえ方や健康のために人や社会に望まれることも変化し、生活習慣病や薬物、心の問題など健康に関わる問題を理解する。

2. アドバイス

個人の努力だけでなく、社会の一員として地球規模で健康問題を考える意識が必要である。
そのため、常に新聞やニュース、インターネットなどで情報を集め、健康的な生活習慣を身につけたり、生活環境を守るための知識と能力を高めたり、また、生涯スポーツに向けて運動技能を高めたりして、適切な意志決定や行動選択を実践していくこと。
また、学習を実施するうえでは、事前に学習するページを読んでおくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

期末、学年末考査 ・ ノート提出 ・ 授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1 学期 期末 考查	現代 社会 と 健康	6-7	1. 私たちの健康のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における健康水準の向上 ・わが国における健康問題の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のわが国の健康水準について、時代の変化と諸外国の比較などを通して学習した。 ・客観的な数値にはあらわれにくい健康について考えた。 	<input type="checkbox"/>
		8-9	2. 健康のとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> ・健康についてのさまざまな考え方 ・健康の成り立ちとその要因 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における健康の成立要因や条件を学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		10-11	3. 健康に関わる意志決定・行動選択	<ul style="list-style-type: none"> ・意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因と健康的に実現する工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・意志決定・行動選択に影響する要因を、個人的なもの和社会的なものに分けて学習した。 	<input type="checkbox"/>
		12-15	4. 健康に関する健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりを支える環境 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や民間機関、国際機関などが行うさまざまな保健活動やヘルスプロモーションの理念に基づき考えてみた。 	<input type="checkbox"/>
		16-17	5. 生活習慣病とその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とは ・生活習慣病の予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病を防ぐ方法を食事・運動・休養および睡眠などから学び、予防への意識を高めることができた。 ・生活習慣病の予防を学んだ上で重要な食生活について個人個人で考えてみた。 	<input type="checkbox"/>
		18-19	6. 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食生活の重要性と意義 ・健康的な食生活習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日繰り返される食生活は、習慣化することなので、家庭の協力を得ながら自らが注意・予防することを学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		20-21	7. 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康からみた運動の意義 ・健康づくりのための運動習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・より健康な体と生活習慣を身につけるために大切な運動を学ぶことができた。 	<input type="checkbox"/>
		22-23	8. 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動によって、食事や睡眠などの生活バランスが保たれることと生活習慣病の予防にも効果があることを学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		24-25	9. 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の健康影響 ・喫煙開始の要因と依存性 ・喫煙への対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙をしたらどのような問題が起こりうるかを、さまざまな角度から考えるようになった。 ・喫煙開始のほとんどは、興味から始めてしまい依存しているケースと喫煙による健康被害の実情を学習した。 ・喫煙への興味を断ち切ることと、分煙化が進んでいること、禁煙外来などもあり、非喫煙に向けて取り組みがなされていることを学習した。 	<input type="checkbox"/>
		26-27	10. 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒の健康影響 ・飲酒開始の要因と社会問題 ・飲酒への対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒するるとどのような問題が起こりうるかを、さまざまな角度から考えられるようになった。 ・飲酒に対して、現在どのような対策が取られ、これからどのような対策が必要なのかを知り、上手にお酒とつきあうことを学習した。 	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2 学 期 期 末 考 査	現 代 社 会 と 健 康	28-29	11. 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用と健康影響 ・薬物乱用が引き起こす社会問題 ・薬物に対する対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用をしたならどのような健康被害が起こるのかを、さまざまな角度から学習した。 ・薬物乱用は、健康被害だけでなく、事件や事故を引き起こす要因ともなり、さまざまな犯罪にも関わってくることを学習した。 ・麻薬や覚醒剤、合法ドラッグ、脱法ハーブなど、さまざまな問題が身近に迫っている危険性を知る。 	<input type="checkbox"/>
		32-33	12. 現代の感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症とは 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本だけでなく世界中に広がりを見せている感染症について学ぶ。 	<input type="checkbox"/>
		34-35	13. 感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに注目される感染症 ・再び問題となっている感染症 ・感染症予防の原則 ・現代の感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年になって多くの新しい脅威の感染症が出現し、今後の動向にも注目される感染症について学ぶ。 ・下火となっていた感染症の再来（再興感染症）についても学び、地球規模で取り組まなければならないことを学習した。 ・環境の変化による感染症の増加が近年起こっていることや病原体に対する感染経路・体の抵抗力などから予防することを学習した。 ・個人で予防することはもちろん、日本ではさまざまなところで検疫活動が行われ、感染症が発生した際にも早急な対応が行われていることを学習した。 	<input type="checkbox"/>
		36-37	14. 性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズ ・性感染症・エイズとその予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズの現状と問題点を指摘し、身近なところに迫っていることを学んだ。 ・エイズに対する学習から検査を受けること、HIVに対する取り扱いまでの予防という観点から学習した。 	<input type="checkbox"/>
		38-39	15. 欲求と適応機制	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求と脳の働き さまざまな欲求 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の欲求にはどのような種類があり、また、どのような欲求が生じるかを知ることができた。 	<input type="checkbox"/>
		40-41	16. 心身の相関とストレス	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求不満と適応機制 心身相関のしくみとストレス 	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求不満から生じる不安や緊張・悩みに対する適応機制のさまざまな例を交えて理解できた。 	<input type="checkbox"/>
		42-45	17. ストレスの対処	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスの影響と心の健康 ・気分転換やリラクゼーションによる対処 ・信頼できる人や専門家への相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の働きと体の働きが相互に影響しあう関係について学習した。 ・ストレスはどのような状態であるかを説明し、ストレスの原因をあげられるようにする。 ・ストレスについて自分でとることの出来る対処法を考えられるようになった。 	<input type="checkbox"/>
		46-47	18. 心の健康と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己実現と心の健康との関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・気分転換や気持ちの持ち方次第でもストレスのかかり方が大きく違うことを学習した。 	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3 学期学年末考査	現代社会と健康	48-49	19. 交通事故の現状と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状 ・交通事故の要因 ・安全な運転のための資質 	<ul style="list-style-type: none"> ・一生を左右するような交通事故が生む惨劇をしっかりと認識し、死亡事故が減少傾向しているが、発生件数は増加している現状を考える。 ・事故を起こした双方に要因があり、たった一つでも起こす要因があれば、事故が起こるということを学んだ。 ・交通ルールやマナーを守るだけでなく、運転技術への過信をしないこと、予測する能力を普段から身につけることをこころがけ、生命の尊重を第一に考えるようになった。 	<input type="checkbox"/>
		50-51	20. 交通社会における運転者の資質と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の責任と補償 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、ニュースでも話題となっていて、交通事故による責任と補償は、個人のレベルをはるかに越え、被害者の家族も加害者の家族へも影響することを知ることができた。 	<input type="checkbox"/>
		52-55	21. 安全な交通社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・法的な整備と施設・設備の充実 ・車の安全性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を防ぐのには、個人が安全な行動をとるだけでなく、法律で定められているさまざまな法を学んだ。 ・車の安全性が求められ、さまざまな開発や工夫がなされてきました。その安全性のある車選択やそれを走る道路整備などの課題が山積している現状を知ることができた。 	<input type="checkbox"/>
		56-57	22. 応急手当とその基本	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義 ・応急手当の手順 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当は、生命を救うだけでなく、悪化防止にも十分役立つことと、普段の訓練がとっさの時に判断し、行動ができることを知ることができた。 ・応急手当は、適切な手当をおこなうことが大切で、そのための手順は、しっかりと身につけておく必要があることを実習も入れながら学習した。 	<input type="checkbox"/>
		58-59	23. 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の意義と原理 ・心肺蘇生法の手順 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当を行う中で、緊急性や重大事故に遭った場合などは、胸骨圧迫や人工呼吸を行わなければならないことを学んだ。 ・負傷者が呼吸をしていない場合、胸骨圧迫・気道確保と人工呼吸・AEDの使用などの手順をいざという時に実践できるようになった。 	<input type="checkbox"/>
60-62	24. 日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの応急手当 ・熱中症の応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな環境下でけがが起こり、どのように対処していったらよいかを身につけておくことで日常生活に大きく役立つことを知ることができた。 	<input type="checkbox"/>		

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～7 組	教科	外国語	科目	コミュニケーション英語 I
				単位数	4
「学び」の目標とねらい	偉人の生き方や社会の出来事について学び、共感したことや自分の意見を論理的に相手に伝える力を養います。				
教材	『LANDMARK English Communication I 』(啓林館) ※この教科書は 2・3 年生でも使用します。大切に使いましょう。				
副教材等	【必携】 『予習ノート』(啓林館) , 『総合英語 Evergreen』(いいずな書店) 【あると便利なもの】 『Evergreen 25 Lessons』(いいずな書店) 教科書準拠 音声 CD(自宅で活用)				

1. 学習内容

中学に引き続き、英語の基礎となる「話すこと」「聴くこと」「読むこと」「書くこと」の 4 つの力を総合的に伸ばします。高校でも、教科書では多岐に渡った心を揺さぶられるトピックをたくさん扱います。文章の表面的な意味をただ理解するだけでなく、一歩進んで、自分はそのテーマについてどう思うのか、しっかり人に意見を言えるような力を養います。

高度な英語力を習得することは単なる出発点であって、英語学習の目的ではありません。英語を使って何が出来るかが重要です。英語はコミュニケーションツールであり、英語力のみで皆さんの人物や能力が評価されることはありません。授業では英語力だけでなく、日本を含めた世界の国々の文化や民族問題等についても学びます。

2. アドバイス

①コツコツトレーニングすることを怠らないこと。

英語は実技教科なので、何度も練習することが大切です。苦手なことでも、練習すれば必ず出来るようになります。バスケットボールで考えてみましょう。ドリブルやシュート、パスの基礎ができていないのに、試合に勝つことはできませんよね。授業で正しいドリブル、シュート、パスのやり方を覚え、自分が苦手なところを練習し、実力がついて初めて試合(実際の英会話、定期考査や英検など)で勝つことが出来るのです。CD を聞きながら、同じ速さ、同じアクセント(強弱)で話せるように練習しましょう。地味なトレーニングを怠らないようにしましょう。

②少なくとも英検準 2 級、国際系統の学部を志望する人は英検 2 級合格を目指してトレーニングしましょう。各種試験で安定した点数を取り、難関大学を突破するためには、高 1 でこのレベルに達していることは必須です。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・定期考査 ・平常点(授業態度・宿題・課題・実技試験など)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	自己紹介	6	Preparatory Lesson 1	主語と動詞	高校英語の学習に必要な基礎知識を身につける。	<input type="checkbox"/>
		7	Preparatory Lesson 2	品詞		
		8	Preparatory Lesson 3	句と節		
		9	Preparatory Lesson 4	フレーズ		
	大衆・比較文化	10-21	Lesson 1 What Can Blood Type Tell Us?	動名詞 不定詞	本文内容理解 文法理解 血液型を含めて英語で自己紹介する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		22-35	Lesson 2 Curry Travels around the World	分詞の後置修飾 現在完了形	本文内容理解 文法理解 自分好みのカレーについて意見交換をする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	比較文化	36-49	Lesson 3 School Uniforms	関係代名詞 S+V+疑問詞節 S+V+O+疑問詞節	本文内容理解 文法理解 日本と海外の制服事情について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		50	Tips for Listening 1	まぎらわしい音	英語の音声の特徴について理解し、聞き取れるようにする。	<input type="checkbox"/>
		51	Tips for Listening 2	アクセント		
	動物・環境	58-71	Lesson 4 Gorillas and Humans	seem の用法 現在完了進行形	本文内容理解 文法理解 絶滅危惧種についてレポートを書き発表する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
夏休み			<ul style="list-style-type: none"> ●夏期講習 ●副読教材 ●その他、授業時に指示する。 			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	言語・文化 環境・生き方	72-85	Lesson 5 “gr8” or great?	It ~ that の形式主語 構文 知覚動詞+O+動詞の 原形 / 現在分詞	本文内容理解 文法理解 英語圏の若者が用いる新種の 言語について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		86-99	Lesson 6 Biodiesel Adventure	過去完了形 使役動詞+O+動詞の 原形	本文内容理解 文法理解 環境に優しい活動について意 見交換をする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		100	Tips for Listening 3	強い音・弱い音	英語の音声の特徴について理 解し、聞き取れるようにする。	<input type="checkbox"/>
		101	Tips for Listening 4	つながる音		
2学期期末考査	環境・世界遺産 女性・職業	102-115	Lesson 7 Eco-tour in Yakushima	前置詞+関係代名詞 関係副詞	本文内容理解 文法理解 訪れてみたい日本の世界遺産 について書き発表する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		124-137	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter	分詞構文 関係代名詞 what	本文内容理解 文法理解 通訳の仕事について理解し、 職業について意見交換する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
冬休み			<ul style="list-style-type: none"> ●冬期講習 ●授業時に指示する。 			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3 学期 学年 末 考 査	宇宙・科学 人権・友情	138-151	Lesson 9 Space Elevator	倍数比較 仮定法過去	本文内容理解 文法理解 もしスペースエレベーターで宇宙へ行けたら何をしたいかについて意見交換をする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		152	Tips for Listening 5	聞こえなくなる音	英語の音声の特徴について理解し、聞き取れるようにする。	<input type="checkbox"/>
		153	Tips for Listening 6	変わる音		
		154-167	Lesson 10 Friendship over Time	関係代名詞非限定用法 仮定法過去完了	本文内容理解 文法理解 もし自分が大島村民であったら どういう行動をしたかについて 自分の意見を書き発表する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
春 休 み			<ul style="list-style-type: none"> ●春期講習 ●授業時に指示する。 			

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～7 組	教科	外国語	科目	英語表現 I
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	中学 3 年間で身につけた力を土台にし、英語を使ったコミュニケーションを通して社会の様々な場面を想定した英語力を養います。				
教材	『MAINSTREAM English Expression I』(増進堂)				
副教材等	『コーパス 3000』(東京書籍)				

1. 学習内容

中学校 3 年間で学んだ英語を土台として、この授業では実際に英語を「使う」ことによって、皆さんの英語力をつけていきます。

授業は基本的にネイティブスピーカーの先生と、日本人教員の 2 人で、英語で行います。日本では、小学校・中学校・高校・大学で 10 以上年も英語を勉強するのに、なかなか英語を話せるようにならないのは、「実際に英語を使って話してみる」という壁を多くの日本人が超えられないからです。授業ではこの壁を打ち破って、実際に英語を「わかる」から「使える」レベルにできるようにしていきます。

1 月のスピーチコンテストに向けて、パワーポイント等を使っての発表をしていきます。発表を通じて話す力、書く力、読む力、聴く力の 4 技能を伸ばしていきましょう。

2. アドバイス

学習の到達度を図るために、GTEC を全員受験します(英検も年に 3 回実施しています)。1 年生のうちに練習と問題演習を重ねて、「GTEC スコア 450 点以上」「英語検定準 2 級～2 級取得」を目指してください。1 年次にこの 2 点をクリアする程度の英語力が、「難関大学」を目指すために必要な英語力の目安だと考えてください。

そのためには英語の処理速度を上げることが必要です。これは、長文をただ眺めているだけでは力がつきません。家ではコミュニケーション英語 I の教科書 CD をしっかり聞き、同じ速度、同じ高さ、同じ強弱で教科書を読めるようになるようにトレーニングをしましょう。また、授業では積極的に英語で自分の意見を人に伝えましょう。

英語が話せるようになることは、自転車を漕ぐことと似ています。一度乗れるようになれば、もう漕ぎ方は忘れないし、自転車を使えば遠くまで行くことができ、今まで見たことのないような、違う世界を見ることができますよ。一緒に頑張りましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(小テスト・発表[スピーチ]・授業態度・宿題・課題・提出物など)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	自分自身のことを伝えよう	6-7	Lesson 1 Nice to Meet You	文の要素	文の要素について理解し、英語で自己紹介する。	<input type="checkbox"/>
		8-9	Lesson 2 What Kind of Music Do You Like?	現在形	現在形の性質を理解し、自分の好きな音楽を英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		10-11	Lesson 3 My Treasure	過去形	過去形の性質を理解し、自分の大切なものについて英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		12-13	Lesson 4 This Coming Weekend	未来の表現	未来を表す表現を学び、週末の予定を英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		14-15	Grammar		Lesson 1～4 の文法を復習する。	<input type="checkbox"/>
		18	What Is This in English?		カタカナ英語と実際の英語の違いを理解する。	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	日常生活を語ろう	20-25	Lesson 5 Subjects I'm taking	進行形	進行形の働きを理解し、自分の勉強している科目について英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		26-31	Lesson 6 Are You in a Club?	現在完了形	現在完了形の働きを理解し、クラブ活動について英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		32-37	Lesson 7 The School Festival Is Soon	現在完了進行形 過去完了形	現在完了進行形、過去完了形の働きを理解し、文化祭について英語で書く。	<input type="checkbox"/>
夏休み			<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチコンテスト原稿 ●授業時に指示する。 			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	日常生活を語ろう	38-43	Lesson 8 Getting to Asahi Senior High School	助動詞 命令文	助動詞、命令文の働きを理解し、英語で道案内ができるようになる。	<input type="checkbox"/>
		44-49	Lesson 9 The Store I Often Go to	受動態	受動態の形とその働きを理解し、よく行く店について英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		50-55	Lesson 10 I Feel Sick	不定詞	不定詞の働きを理解し、健康状態について英語で表現する。	<input type="checkbox"/>
2学期期末考査	社会・世界を考えよう	59-64	Lesson 11 Volunteer Activity	動名詞	動名詞の働きを理解し、ボランティア活動について英語でメールを書く。	<input type="checkbox"/>
		65-70	Lesson 12 Japanese Food	分詞	分詞の働きを理解し、日本の食べ物について英語で説明する。	<input type="checkbox"/>
		71-76	Lesson 13 Countries Around The World	関係代名詞	代名詞の働きを理解し、留学に関する手紙を英語で書く。	<input type="checkbox"/>
		77-82	Lesson 14 Reduce, Reuse, Recycle	関係副詞	比較の用法を理解し、ゴミ問題について英語で学校新聞の記事を書く。	<input type="checkbox"/>
冬休み			●授業時に指示する。			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	発表しよう	83-88	Lesson 15 We Are What We Eat	関係副詞	関係副詞を理解し, 食べ物についての意見をまとめて, 英字新聞の読者欄に投稿する。	<input type="checkbox"/>
		89-94	Lesson 16 An Impressive Book	仮定法	仮定法の働きを理解し, おすすめの本について英語でブックレビューを書く。	<input type="checkbox"/>
		100-105	Lesson 17 Performing a Skit		スキットに触れ, 演じる技術を学習した上で, 実際にスキットを書いて発表する。	<input type="checkbox"/>
		106-109	Lesson 18 Making a Presentation		発表のサンプルを聞き, 段階を踏んで効果的な発表の方法について学んだ上で, プレゼンテーションをする。	<input type="checkbox"/>
春休み			●授業時に指示する。			

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	家庭	科目	家庭基礎
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	自分の生活を振り返って、背景にある原理や仕組みを理解し、よりよい生活を創造するために、知識や技術、自分なりの考え方、価値観を育もう。				
教材	最新家庭基礎 生活を科学する(教育図書)				
副教材等	【必携】資料集、準拠ノート 【あると便利なもの】 ※ノートを自分で用意する必要はありません。				

1. 学習内容

自分の人生や生活を深くみつめます。自分にとっての「よりよい生活」、「よりよい人生」とはどのようなものかを実践的・体験的な学習活動を通して考え、ひととしての自立を目指します。

家庭基礎では「自分の生活・人生について考える・体験する・身に付ける・向き合う・展開する」をテーマにしています。

2. アドバイス

- 1 真剣に自分自身と向き合うこと
- 2 あらゆることに興味・関心を持って取り組むこと
- 3 ものごとに対してより深い思考・判断ができ、それを表現できるようになること
- 4 授業内ですべき課題は、授業内で終わらせること

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(課題、製作作品、授業に取り組む姿勢)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	自立	4-23	青年期の自立と家族	人の一生とライフステージ 現代の家族 家庭生活の成り立ち	●各ライフステージの特徴と課題を理解し、生涯を見通した上で青年期の生き方を考える。	<input type="checkbox"/>
		50-63	高齢期の生活	家族と社会 超高齢社会を生きる 高齢期の心身の特徴と暮らし 高齢期の暮らしを支えるしくみ	●社会の変化に伴う家族・家庭の変化や特徴を理解する。 ●家庭生活を支える労働を理解し、男女が協力して家庭をつくる意義の理解を深める。 ●家庭生活を支える基本的な法律について理解する。 ●現代の家族問題と、解決のための社会的な仕組みについて理解する。 ●自分の将来像としての高齢期について考えることができる。 ●高齢期の心身の特徴について理解する。 ●高齢期の生活や、それを取り巻く社会問題について知り、高齢期を支える基本的な制度や仕組みについて理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	自立	120-143	衣生活	衣服を着る 衣服の成り立ち 衣服と消費者 衣服の手入れ 被服実習	●人間の生活と衣服のかかわり、衣服の主な機能を理解する。 ●色彩の基本を理解する。 ●衣服の素材(繊維・糸・布)の種類や特徴について理解する。 ●衣服素材の、性能や着心地・構成について理解する。 ●衣服の表示から得られる消費者情報を活用できる。 ●洗濯の特徴を科学的に理解し、衣服表示に基づき適切な洗濯・仕上げ・保管ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
夏休み						

2学期中間考査	自立	72-119	食生活	食と文化 栄養と栄養素 食品の選択と取り扱い 食中毒と食品の安全 食品の保存 調理の基礎 調理実習	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の食生活の特徴と食文化を理解する。 ●栄養素の種類や機能を理解する。 ●主な食品の特徴・調理特性を理解する。 ●食品の適切な選択・保存方法について理解する。 ●食品の衛生の安全について理解する。 ●目的に合った食品を選び、適切に取り扱うことができる。 ●各調理法の特徴を理解し、安全で衛生的、かつ、環境に配慮した効率的な調理技術を身につける。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		162-179	消費生活・経済	経済的な自立を目指す 消費者問題と消費者の権利	<ul style="list-style-type: none"> ●家族の生活費と家計との関係を認識する。 ●現代の家計の特徴を知り、消費者信用の適切な活用について理解する。 ●消費者問題について理解する。 ●消費者の権利や消費者支援の制度について理解する。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
冬休み						

3 学期学年末考査	自立	144-161	住生活	住まいをみつめる 安全で健康な住まい	<ul style="list-style-type: none"> ● 住まいのおもな機能について理解する。 <input type="checkbox"/> ● 家族の生活に応じた適切な住まいについて考えることができる。 <input type="checkbox"/> ● 平面図から、基本的な情報を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> ● 安全で衛生的な住まいの条件について科学的に理解する。 <input type="checkbox"/>
		24-49 64-71	子どもの発達と保育 共生社会	子どもの発達 子どもの生活 社会と子ども 社会保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの心身の発達の特徴について理解する。 <input type="checkbox"/> ● 子どもの発達における遊びの意義について理解する。 <input type="checkbox"/> ● 子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 <input type="checkbox"/> ● 現代の子どもを取り巻く環境の問題を知り、子育て支援、環境整備の重要性を理解する。 <input type="checkbox"/> ● 子どもの権利や福祉について理解する。 <input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	情報	科目	社会と情報
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	情報社会における基礎知識に加え、タイピング技術や office 系ソフトなど今後必要となるコンピュータ操作技術の基礎を身に着ける				
教材	『最新 社会と情報』実教出版				
副教材等	【必携】なし 【あると便利なもの】クリアファイル等の配布プリントを管理できるもの ※授業はプリント中心に進むため、きちんと管理・保管すること				

1. 学習内容

1学期は、windows と日本語入力の基本操作に関して中学までのパソコンリテラシの学習内容を復習するとともに、情報発信の基礎となる情報モラルについて学習し、文書作成ソフトを使用したデータの統合・表現の工夫を学ぶ。アカウントの重要性と覚えることを徹底する。

2学期は、デジタルデータの扱いを中心に、現代の情報の伝達方法・表現方法や、マルチメディアデータを使ったパワーポイントファイルによる効果的なプレゼンテーション資料の作成方法を学ぶ。

3学期は、表計算ソフトの基本操作と共に、データの整理方法を学ぶ。

2. アドバイス

近年、小学校では様々な教科でパソコンをはじめとするデジタル機器を利用し、中学校の技術家庭ではパソコンの構造やワープロの操作なども学習することになっています。ですが、その学習内容は学校によって、また担当する先生によっても異なり、パソコンなら思い通りに使える、という人がいる一方で、キーボード入力にも自信がない、という人もいます。

この授業では、すべての生徒がパソコンの基本的な操作方法を習得し、場面に応じて適切なデジタル機器を使った自己表現ができるようになることを目指しています。

実習を中心としますが、机上での学習や覚えることもたくさんあります。実習課題は多いですが、授業中に真面目に取り組めばこなせる内容ですので、集中して授業を受けることを期待します。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・授業内課題
- ・授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1 学期 期末 考査	パソコンリテラシ	プリント	パソコンリテラシ	授業ガイダンス 教室使用上の注意	・P 検5級で現在のパソコンリテラシの知識チェック(アカウントの記憶を含む)	<input type="checkbox"/>
				Windowsと日本語入力に関する基礎知識と基本操作について	・日本語入力方法とファンクションキーの使い方の理解	<input type="checkbox"/>
				タッチタイピング練習 毎時間最初の5分間をタイピング練習に充てる	・タッチタイピングレベルチェック	<input type="checkbox"/>
				授業用ネットワークについて	・個人領域と共有フォルダの用法を理解	<input type="checkbox"/>
	情報社会と私たち	6-15	1. 情報社会 2. 情報社会の個人	情報社会の概要を整理する 中学までの既習事項を振り返る	・情報社会の問題点、情報モラルについて考える ・自分の知識・技能を確認する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		16-32	3. 情報とメディア	情報の特徴、メディアの種類、表現メディアの特性について考える	・情報の特徴について考える ・メディアの種類を理解する ・表現メディアの特性を理解する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
文書作成ソフト	56-61	表現と伝達 1. 表現の工夫	表現と伝達の方法、情報の組み立て方法、情報の統合方法について学習する	・場面ごとに効果的な情報伝達を考える ・誰に何を伝えるか ・どのように伝えるか ・情報の統合方法	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
2学期期末考査	情報機器とデジタル表現	34-39	デジタルと情報機器	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの違い ・コンピュータ内の情報の表し方(2進数) ・文字、画像、音声、動画のデジタル化 ・GIF の作成により動画の作成方法を学ぶ 	以下のデジタルデータについて理解する <ul style="list-style-type: none"> ・2進数 ・文字 ・画像・動画 ・音 ・アニメーションの作成 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		40-54	デジタル表現	生活の中の情報量の単位について学び、単位の大小・変換方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の種類・大小がわかる ・単位の変換ができる ・データの圧縮ができる 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	プレゼンテーション	74-81	プレゼンテーション	スライドのデザインや構成を考え、スライドを作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドの構成を考える ・アニメーション・表・グラフの利用 ・スライドの作成 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
				発表と相互評価および修正	<ul style="list-style-type: none"> ・発表・相互評価 ・相互評価をもとに修正を加える 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	3学期学年末考査	表計算	62-73	表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	Excel の基本操作を課題で学ぶ	Excel の基本操作の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・計算させることができる ・関数を利用することができる ・グラフを作成できる ・データからレポートを作成できる 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～7 組	教科	芸術	科目	音楽 I (選択)
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	様々な音楽に触れ、基礎的な表現の技術を身につける				
教材	高校生の音楽 1 (教育芸術社)				
副教材等	リコーダー (アルトまたはソプラノ…小・中学生のときに使っていたもの)				

1. 学習内容

○ 表現

- (1) 歌唱…合唱曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲を中心に、表現を工夫して歌う
- (2) 器楽…アンサンブルを中心に、表現を工夫して演奏する
- (3) 創作…音楽を形づくっている要素を感受し、音楽をつくる

○ 鑑賞

- (1) 音色の特徴
- (2) 歴史的背景、作曲者の特徴
- (3) 伝統音楽の特徴

2. アドバイス

- 音楽には様々な分野があります。この授業では西洋音楽を土台に、楽典、歌唱、器楽を扱います。
- 器楽ではリコーダーも使用します。ソプラノかアルトリコーダーを用意してください。
- 実技授業です。自分の得意を生かし、積極的に参加しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

実技試験(授業内)・筆記試験(授業内)・授業での取り組み・提出物

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	表現法を身につけよう・様々な音楽を鑑賞しよう	34-35 60-69	校歌	歌唱表現	1・3番を暗譜で歌える	<input type="checkbox"/>
			リズムアンサンブル	『Clapping Quartet No.1』	手拍子で作られる様々な音色を工夫しながらアンサンブルをする	<input type="checkbox"/>
			様々な音楽	鑑賞『西洋音楽史』	西洋音楽史の流れを理解し、時代背景と音楽構造についての理解を深める	<input type="checkbox"/>
			楽典	楽譜の読み方 音符・音名	楽典の基礎を身につける	<input type="checkbox"/>
2学期	様々な舞台芸術を鑑賞しよう・表現形態に応じて表現を工夫	117-131	器楽アンサンブル	器楽表現	表現を工夫して演奏する	<input type="checkbox"/>
			合唱曲	様々な合唱表現	曲種に応じた奏法で、アーティキュレーションを生かして表現を工夫する	<input type="checkbox"/>
			様々な舞台芸術	ミュージカル、オペラ、歌舞伎、能楽・文楽	歌詞の内容を感じ取り、イメージを持って歌える	<input type="checkbox"/>
			楽典	音程・音階・調	西洋、我が国双方の舞台芸術についてそれぞれの特徴・歴史的背景を理解して鑑賞する	<input type="checkbox"/>
					音楽を形づくっている要素を知覚する。	<input type="checkbox"/>
3学期	創作しよう		グループ発表	発表における表現	アンサンブル経験を積むことによって、個性豊かな表現について考察する	<input type="checkbox"/>
			創作(楽典)	和音	和音進行を理解して、イメージを持って音楽をつくる	<input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～7 組	教科	芸術	科目	美術 I (選択)
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	様々な技法を習得するとともに感性を高め創造性を養う。				
教材	高校美術 1				
副教材等	なし				

1. 学習内容

絵の具を中心に美術の基礎的能力を高め、多彩な表現の中で完成と表現能力を高める。

2. アドバイス

日常の中からテーマとなる素材を見つける
アイデアを出すこともトレーニング次第でスピード、質ともにアップする。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

あきらめずに最後まで仕上げること。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	塑像		手	○鑑賞 ○手のデッサン	手の動きを知る。 モチーフをよく見て描く。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	塑像		手	○粘土で手を制作する	デッサンと実物を見ながら、力強く表現する。	<input type="checkbox"/>
2学期中間考査	絵画		デッサン	○具象画・抽象画 ○鉛筆の使い方	具象画・抽象画について理解する。 基本的な鉛筆の使い方を学び、使えるようになる。 形態・明暗を正確に描画する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	絵画		水彩	○平面構成		<input type="checkbox"/>
3学期学年末考査	デザイン		妖怪のデザイン	○オリジナル妖怪のデザイン ○鑑賞	オリジナリティあるデザインを考える。 読んだ人に伝わるポートフォリオを作る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	芸術	科目	書道Ⅰ(選択)
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	書道を通して書を愛好する心情を育てるとともに感性を高める。また、書写能力の向上を図り表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、芸術書道について理解を深める。				
教材	光村図書 書Ⅰ				
副教材等	なし				

1. 学習内容

- ①書写と書道の違いを把握し、芸術科書道の意義を理解します。
- ②歴代の能書家の書法を学び、基本的な筆使いを習得。楷書・行書の特徴を学び臨書します。
- ③臨書で学んだ書風を生かして創作をします。
- ④単体や連綿などの仮名の基本的な用筆法を学び、日本の古筆『蓬萊切』を臨書します。

2. アドバイス

書の楽しさを体感するためには、古典の作品や書道の諸活動を通して、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を身につけていくことが大切です。そのためには基本用筆法をしっかり習得し、「古典の書」をじっくりと鑑賞する機会を持つことや繰り返し古典作品を臨書することをおすすめします。また、書道展や友達の作品を鑑賞することも自身の学びになりますので、積極的に行ってください。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・課題作品 ・授業態度 ・出欠
 その他(忘れ物に気をつけること。片付けの際の水道の使い方や道具の管理が出来ているかも見ます。)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査		5-6	書写から書道へ	点画の種類	点画について知る	<input type="checkbox"/>
		132-138	姿勢・執筆法 用筆・運筆	姿勢・執筆法 用筆・運筆	姿勢、執筆法の確認をする 基本的な用筆・運筆を知る 芸術書道について理解する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		8-9	漢字の変遷	漢字の変遷	書体の変遷を理解する	<input type="checkbox"/>
		10-17	唐の四大家 虞世南 「孔子廟堂碑」	書家が生きた時代背景等 を学ぶ 教科書中の作品鑑賞 説明を聞いて各作品の特 徴を知る 筆使いを考えて書く	「孔子廟堂碑」の臨書作品を提 出する	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	漢字の書の学習	18-21	唐の四大家 欧陽詢 「九成宮醴泉銘」	書家が生きた時代背景等 を学ぶ 教科書中の作品鑑賞 説明を聞いて各作品の特 徴を知る 筆使いを考えて書く	「九成宮醴泉銘」の臨書作品を 提出する	<input type="checkbox"/>
		22-25	唐の四大家 褚遂良 「雁塔聖教序」		「雁塔聖教序」の特徴を知り臨 書する	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	漢字の書の学習	26-31	唐の四大家 顔真卿 「顔氏家廟碑」	龍門石窟の書、摩崖の書を学びさまざまな表現にふれる 古典に学ぶ表現の制作	「顔氏家廟碑」の特徴を知り臨書する	<input type="checkbox"/>
		34-35 36-37	表現を広げよう 「牛欄造像記」 「鄭羲下碑」		「牛欄造像記」の特徴を知り臨書する 「鄭羲下碑」の特徴を知り臨書する 学習した楷書の書風を生かして創作する	<input type="checkbox"/>
2学期期末考査	漢字の書の学習	42-51	行書の学習 王羲之 「蘭亭序」	行書の成立と用筆法 「蘭亭序」を鑑賞し特徴を知る 行書の特徴を考えて書く	行書作品の特徴や用筆法を知る 「蘭亭序」の特徴を知り臨書する 半切に臨書する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		54-57	日本の行書 空海 「風信帖」 年賀状制作	日本の行書(三筆・三跡)を鑑賞し、特徴を知り臨書する 新年にふさわしい賀詞を学び、制作する	「風信帖」の特徴を知り臨書する 新年にふさわしい賀詞を使って小筆で年賀状を書く	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	仮名の書の学習	70 -96	仮名の書の学習	仮名の成立と種類 仮名の用具・用材 仮名の基本的な用筆法 仮名の単体・連綿・変体 仮名	仮名作品の特徴を知る 基本的な用筆法を知る 仮名の単体、連綿、変体仮名 を書いて提出する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			蓬萊切	古筆の鑑賞 「蓬萊切」の鑑賞と特徴	「蓬萊切」を料紙に臨書し提出する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学付属高等学校 年間シラバス

学年・組	1年1～7組	教科	芸術	科目	工芸 I (選択)
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	身近な生活で使用するモノに対する関心をもち、その仕組みや機能について考え、自ら考案、設計しながら、より美しく機能的な作品を制作してみよう。				
教材	工芸 I : プッシュ・ステンドグラスキット、オープン陶芸粘土、コルクボード。				
副教材等	【毎時間持ってくる物】 プロジェクトペーパー(設計用) 筆記用具(シャープペンシルではなくHB以上の鉛筆)				

1. 学習内容

中学の技術・家庭、美術(工芸分野)で学んだことを生かし、粘土を用いた陶芸、木材を使用した作品を製作していきます。

どのような大きさ、デザインにするのか、最初に考える「設計」がとても大切なので、時間をかけて書いていきます。

また芸術科目であるので、見栄えの良さ、美しさ、バランスを考え追及し、工芸の理念である「生活で使用できる作品」についても深く学びます。

さらに視聴覚授業も時折交えて、海外の現存する建築を含む芸術全般を紹介します。

2. アドバイス

筆記テストはありません。楽しいと思うことがモノづくり+芸術創作の第一歩です。特に工芸は、日常の暮らしに密着しており、生活に使用できることが第一条件ですが、それに美的感覚を意識し、探求します。困難な局面、失敗することもあります。そのときに課題を克服するために自らのアイデアと創造力を大切にして、作業をすすめていきます。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

作品
 授業を受ける姿勢
 清掃、物品の扱い方などの取り組み姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	ブッシュステンドランプシェード		ステンド・グラスの基礎	1 西洋教会について 2 製図・設計	欧州のキリスト教会に現存するステンドグラスを視聴覚教材にて鑑賞し、実際の光の状態などを学ぶ。 視覚的効果を考慮して配色設計する。 第三角法による正投影図・等角図・キャビネット図の特徴を知り、使い方を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期	陶芸		陶芸の基礎	1 陶芸芸 (器のデザイン学習)	陶土の性質をよく理解する。 機能的であり、かつ美しい形を考え設計する。 オープンによる焼成法を学ぶ。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3学期	木工芸		コルクボードの制作	木工芸	コルクボードを切り抜いて、伝言ボードの制作を行う。着色・配色に注意。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>